

報告第9号

令和5年度読谷村教育委員会事務点検・評価の報告について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条第1項の規定により、令和5年度読谷村教育委員会事務点検・評価を別紙のとおり報告します。

令和6年9月5日提出

読谷村長 石 嶺 傳 實

令和 5 年度

読谷村教育委員会事務点検・評価報告書

令和 6 年 9 月

読谷村教育委員会

は じ め に

平素より本村の教育行政にご理解とご協力を賜り、感謝を申し上げます。

さて、令和2年度より全世界で蔓延した新型コロナウイルス感染症もワクチン等の開発や医療対処方法が整ったことから、令和5年5月に感染症法における類型が季節性インフルエンザと同等の5類に引き下げられました。これにより、経済活動や日常生活もようやく落ち着き、教育分野における各種活動も活発に行われるようになりました。

アフターコロナといわれる状況となった中、本村では、読谷村のむらづくりのあるべき姿を示す「読谷村ゆたさむらビジョン」の基本目標である「ゆたさある風水 優る肝心 咲き誇る文化ど 想い合ち(ゆたさあるふんし まさるちむぐくる さちふくるはなどう うむいあわち)」を達成するため、5つの基本施策に基づき、むらづくりに取り組んでおります。

この5つの基本施策のうち、教育分野におけるむらづくりの基本施策として「ちむ清らさあるひとの学び育ち～夢を育み生涯輝けるひとづくり～」を掲げて、子どもたちが心身ともに健やかに成長できる子ども子育てを推進するとともに、「生きる力」を育むための教育環境の充実や幅広い世代に向けた生涯学習の取組推進等、子どもから大人まで、夢を育み生涯輝ける人づくりを目指しております。

令和5年度も、この教育施策に掲げる目標を実現していくため、読谷村教育振興基本計画において、基本目標(1)子どもの成長を促し可能性を広げる「学び」の充実。基本目標(2)生涯を通した学びの循環と読谷の地域文化の継承・創造・発展。基本目標(3)地域との連携による教育環境づくりの3つの基本目標を設定し、各種の事務事業に取り組んでおります。

教育委員会事務点検評価報告書につきましては、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行状況についての点検と評価を行い、その結果に関する報告書を作成することが法律によって義務付けられており、その作成にあたっては、令和5年度に実施した事務事業について、各担当課での点検を行い、また報告について客観性を確保するという観点から教育に関しての学識経験を有する者の知見を図るため、学識経験者からのご意見をいただき、点検・評価報告書をまとめております。

本報告書が、学校現場はもとより各家庭・地域社会において、有効に活用されるとともに、心身ともに健全な読谷村民を育成する一助になることを期待いたします。

令和6年9月
読谷村教育委員会
教育長 知花 優

目 次

はじめに	1
● 事務点検・評価制度	3
● 施策の体系	5
1 読谷村ゆたさむらビジョン（教育行政関係抜粋）	5
2 読谷村教育振興基本計画	6
● 点検評価結果	7
令和5年度事務点検評価事業一覧	8
1 子どもの成長を促し可能性を広げる「学び」の充実	10
1) 確かな学力の向上	10
3) 健やかな体の育成	21
4) 多様なニーズに対応した教育支援の充実	24
2 生涯を通した学びの循環と読谷の地域文化の継承・創造・発展	28
1) 生涯学習の充実	28
2) 生涯スポーツの推進	36
3) 地域文化の継承・創造・発展	44
3 地域との連携による教育環境づくり	57
1) 健全な青少年の育成	57
2) 地域とともにある信頼される学校づくりの推進	62
3) 新しい時代を展望した教育行政の充実	66

●事務点検・評価制度

1 趣旨

全ての教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 31 年法律第 162 号）第 26 条の規定により、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に報告するとともに公表することとされています。

読谷村教育委員会では、同法の規定に基づき、効果的な教育行政の推進に資するとともに、村民への説明責任を果たすために、令和 5 年度における村教育委員会の事務管理及び執行状況について、学識経験者のご意見をいただき、事務事業の点検及び評価を実施し、報告書にまとめました。

2 点検・評価の対象

点検及び評価の対象は、読谷村ゆたさむらビジョンにおける教育施策に関する事業及び読谷村教育振興基本計画に掲げる施策を実施するための事業から重点課題事項として位置づけられた事業としています。

3 点検・評価の実施方法

（１）点検及び評価にあたっては、事業の進捗状況等を明らかにし、自己評価を行うとともに、課題等を分析し、今後の対応策を示しております。

（２）自己評価については、その成果について下記の４段階で評価しました。

レベル	評価内容
A	計画を上回る成果があった。
B	計画どおりの成果があった。
C	計画どおりに実施したが、計画どおりの成果には至らなかった。
D	計画どおりに実施できなかった。

（３）点検・評価の客観性を確保するために、教育に関し学識経験を有する外部の方々（学識経験者）の様々なご意見、ご助言をいただきました。ご意見をいただいた方々は、次のとおりです。

学識経験者	経歴等
松 田 平 次	前村教育長、元小学校校長
我如古 清 秀	社会教育委員会議議長、元小学校教頭

4 点検・評価結果の構成

(1) 施策名

読谷村ゆたさむらビジョンにおける教育行政関連施策及び読谷村教育振興基本計画3施策に係る53事業ごとに点検評価を行っています。

(2) 事業概要

各事業の概要及び目標を掲げています。

(3) 令和5年度取組内容

各事業の目標達成に向けて、令和5年度に取り組む予定とした内容（計画）を記載しています。

(4) 令和5年度取組状況

各事業の令和5年度取組状況について、その成果を記載しています。

(5) 自己評価

令和5年度の実施状況（計画から成果）の状況について、分析を行い、自己評価した内容を記載しています。

(6) 課題

令和5年度の実施状況を踏まえ、今後の取り組みを進める上での課題を記載しています。

(7) 次年度以降の取組内容（課題対応）

令和5年度実施に基づく課題を踏まえ、課題解決を行うための今後の対応策について記載をしています。

(8) 学識経験者からの意見

学識経験者の方々から頂いたご意見等について記載しています。

●施策の体系

1 読谷村ゆたさむらビジョン（教育行政関係抜粋）

基本目標 ゆたさある風水^{フンシ} 優^{マサ}る肝心^{サチフクルハナドゥ} 咲き誇る文化^{ウム}ど^{アワ} 思い合^{アワ}ち

基本施策	施策の方針	施策の展開
2 ちむ清^{ヂユ}らさあるひと^{ヒトウヌマナ}の学^{スダ}び育ち （夢を育み生涯輝けるひとづくり）	1) 子ども子育ての推進	(1) 保育・幼児教育環境と学童保育の充実 (2) 子ども子育て地域支援ネットワークの構築 (3) 笑顔あふれる家庭環境づくり
	2) 子どもの教育の充実	(1) 「生きる力」を育む教育環境・学習活動の推進 (2) 安全・安心な教育環境の充実 (3) 地域と学校が連携した学び場づくりの推進
	3) 地域文化の創造発展	(1) 地域文化の継承・発展 (2) 読谷の歴史・文化・芸術・自然の発信
	4) 生涯学習の充実	(1) 誰でも学べる環境づくりの推進 (2) 地域を担う人材育成の推進
	5) スポーツの推進	(1) スポーツ環境の充実 (2) スポーツに触れる機会の創出

2 読谷村教育振興基本計画

基本理念 ^{デュ}ちむ^{ヒト}清^ツらさ^{スマナ}あるひとの^{スダ}学び育ち

～ 一人ひとりが夢を育み、可能性を広げ、生涯輝けるひとづくり ～

基本目標	基本施策	具体施策
1 子どもの成長を促し可能性を広げる「学び」の充実	1 確かな学力の向上	①幼児教育の充実 ②幼児期からの切れ目のない教育の推進 ③基礎学力の定着・応用力の育成に向けた指導方法の改善 ④国際化・情報化等の現代的な課題に対応した教育の推進
	2 豊かな心を培う教育の推進	①平和を希求し、互いを思いやる心の育成 ②自己肯定感の育成 ③いじめの予防対策・対応の充実
	3 健やかな体の育成	①運動に親しむ環境づくりと体力の向上 ②望ましい食習慣・生活習慣の確立
	4 多様なニーズに対応した教育支援の充実	①特別支援教育の充実 ②帰国・外国籍児童・生徒への教育支援 ③子どもの貧困対策の推進 ④キャリア教育の推進
2 生涯を通して学びの循環と読谷の地域文化の継承・創造・発展	1 生涯学習の充実	①生涯学習の推進体制の充実 ②村民の学習ニーズに応える学習機会と活動支援の充実 ③活動拠点の充実・活用促進 ④読書活動の推進
	2 生涯スポーツの推進	①健康づくりと生涯スポーツの普及推進 ②スポーツ指導者・スポーツ団体の育成 ③スポーツ環境の充実
	3 地域文化の継承・創造・発展	①文化財の保存・活用 ②伝統芸能等の保存・継承 ③郷土に関する資料の収集・保存・活用 ④郷土文化や芸術に触れる場の充実
3 地域との連携による教育環境づくり	1 健全な青少年の育成	①各種体験活動、リーダー育成の充実 ②教育相談・不登校対応の充実 ③読谷村青少年健全育成連絡協議会の充実
	2 地域とともにある信頼される学校づくりの推進	①学校・家庭・地域の連携強化 ②学校施設・設備の充実 ③教職員の資質・能力の向上 ④危機管理対策の充実による学校安全の推進
	3 新しい時代を展望した教育行政の充実	①家庭・地域の教育力の向上 ②教育委員会の充実

●点検・評価結果

令和5年度教育委員会事務点検評価事業一覧表

基本目標	基本施策	事務事業名称	評価	頁
1 子どもの成長を促し可能性を広げる「学び」の充実	確かな学力の向上	幼稚園教育支援員配置事業	B	10
		預かり保育事業	B	11
		学力向上推進事業	B	12
		小学校学習支援員配置事業	B	13
		小学校教育振興事務運営事業	B	14
		中学校学習支援員配置事業	B	15
		中学校教育振興事務運営事業	B	16
		小学校 ICT 環境整備事業	B	17
		中学校 ICT 環境整備事業	B	18
		校内自立支援室事業	B	19
		中学生海外ホームステイ派遣事業	B	20
	健やかな体の育成	給食調理場管理運営事業	B	21
		給食調理場運営事業（読谷・読谷第二）	B	22
		給食調理場建設事業	B	23
	多様なニーズに対応した教育支援の充実	小中学校就学援助事業	B	24
		小中学校特別支援補助事業	B	25
		特別支援教育支援員配置事業	B	26
		特別支援教育推進事業	B	27
2 生涯を通じた学びの循環と読谷の地域文化の継承・創造・発展	生涯学習の充実	生涯学習事務運営事業	B	28
		社会教育関係指導者育成事業	B	29
		まなびフェスタ事業	B	30
		ふれあい交流館自主事業	B	31
		文化センター施設管理運営事業	B	32
		鳳ホール事務運営事業	B	33
		図書館運営事業	B	34
	生涯スポーツの推進	各種スポーツ大会運営事業	B	36
		各種スポーツ教室運営事業	B	37
		後援団体育成事業	B	38
		体育施設運営事業	B	39
		屋内運動場整備事業	C	41
		陸上競技場北側植栽整備事業	B	42
		スケートボード場整備事業	B	43
	地域文化の継承・創造・発展	返還軍用地埋蔵文化財発掘調査事業	B	44
		博物館管理運営事業	B	45
		子ども文化育成事業	B	46

令和5年度教育委員会事務点検評価事業一覧表（前頁からの続き）

基本目標	基本施策	事務事業名称	評価	頁
2 生涯を通した学びの循環と読谷の地域文化の継承・創造・発展	地域文化の継承・創造・発展	沖縄語保存継承事業	A	47
		鳳ホール自主事業	B	49
		陶芸研修所運営事業	B	50
		歴史資料整理活用事業	A	51
		博物館展示事業	B	53
		博物館教育普及事業	B	54
		ユンタンザミュージアム南側駐車場整備事業	B	55
		フィールドミュージアム整備活用事業	B	56
3 地域との連携による教育環境づくり	健全な青少年の育成	地域学校協働活動推進事業	B	57
		放課後子ども教室推進事業	B	58
		村子ども会交流事業	C	59
		青少年センター事務運営事業	B	60
	地域とともにある信頼される学校づくりの推進	小学校校舎等維持補修事業	B	62
		古堅南小学校校舎新增改築事業	B	63
		古堅小学校校舎新增改築事業	B	64
		中学校校舎等維持補修事業	B	65
	新しい時代を展望した教育行政の充実	家庭教育相談支援事業	B	66
		教育委員会事務局運営事業	B	67

1 子どもの成長を促し可能性を広げる「学び」の充実

1) 確かな学力の向上

1	事業名	幼稚園教育支援員配置事業	決算書 P. 297
	担当部署	学校指導課 学校指導係	事業費 13,825,417 円
	総合計画施策名	ちむ清らさあるひとの学び育ち	子ども子育ての推進
	教育振興計画基本目標及び施策名	子どもの成長を促し可能性を広げる「学び」の充実	確かな学力の向上

事業概要	幼稚園 5 園に 1 名ずつ教育支援員を配置し、早朝から登園する在園児を受け入れ、子育て支援及び保護者の就労支援を行うとともに担任のサポートなど日常の保育の中できめ細やかな教育支援を行う。		
令和 5 年度 取 組 内 容 (計 画)	幼稚園全体の支援、補助を行うために 5 園に 1 名の教育支援員の配置を行う。		
令和 5 年度 取 組 状 況 (成 果)	村立幼稚園 5 園に幼稚園教育支援員を 1 名ずつ配置した。担任と連携し教育支援を実践することで、子供の成長及び学びの充実に寄与することができた。また、早朝登園児の受入れを行うことで保護者の就労支援を行うことができた。		
自己評価	B	計画どおりの成果があった。	
		教育支援員を配置できたことで、教育支援の充実が図られるとともに保護者の就労支援に繋がられた。	
課 題	・ 教育支援員の安定的な人材確保 ・ 安全安心な早朝登園児の受け入れ体制づくり		
次年度以降の 取組内容 (課題対応)	・ 教育支援員の安定的な人材確保を行うために、多様な任用方法を検討する。 ・ 保護者の就労支援としての早朝登園児の受入れについて、必要な保護者が安心して利用できるような体制づくりを検討する。		

学識経験者からの意見	幼稚園 5 園に 1 名ずつ教育支援員を配置できたことを評価し、そのことが日常の保育の中できめ細やかな教育支援を行うことができたと考える。今後の課題は、安定的な人材確保であろう。本事業は、幼稚園教育の充実ときめ細かな園児への対応、そして保護者の就労支援にも寄与できる。
------------	--

2	事業名	預かり保育事業	決算書 P. 255
	担当部署	学校指導課 学校指導係	事業費 33,154,384 円
	総合計画施策名	ちむ清らさあるひとの学び育ち	子ども子育ての推進
	教育振興計画基本 目標及び施策名	子どもの成長を促し可能性を広 げる「学び」の充実	確かな学力の向上

事業概要	幼稚園教育課程に係る教育時間の終了後や、長期休業期間中に在園する園児を対象に預かり保育を実施し、保護者の子育てを支援する。
令和5年度 取組内容 (計画)	就労や介護、通院など、様々な理由により午前の幼稚園教育課程終了後も保育を必要とする保護者の負担を軽減するため、村立幼稚園において午後の預かり保育事業を実施する。
令和5年度 取組状況 (成果)	預かり保育利用人数計 262 名 (89%) 内訳 渡慶次幼 39 名 (95%) 読谷幼 77 名 (88%) 喜名幼 49 名 (92%) 古堅幼 49 名 (82%) 古堅南幼 48 名 (91%) 村立幼稚園 5 園に預かり保育士を合計 11 名配置した。さらに、令和5年度より預かり保育ヘルパーを合計 5 名配置し、特別な配慮を要する園児への支援を行った。
自己評価	B 計画どおりの成果があった。 預かり保育士 11 名と預かり保育ヘルパーを各園に 1 名ずつ配置し、特別な配慮を要する園児への支援や、子育て支援及び保護者の就労支援を行うことができた。
課題	・ 預かり保育士及び年休代替の日々雇用保育士の人材確保が難しい。 ・ 幼稚園教育課程終了後の保育の必要性に応じた預かり保育の実施
次年度以降の 取組内容 (課題対応)	・ 多様な媒体を活用し、預かり保育士、日々雇用保育士の安定的な確保に努める。 ・ 安全安心な環境で園児の受け入れ体制を整え、子育て支援及び就労支援を行うために、幼稚園教育課程終了後の保育の必要性に応じた預かり保育の実施を検討する。

学識経験者からの意見	預かり保育利用者の利用率が高い園は 95%、一番低い園でも 82%と極めて利用者のニーズが高い事業である。 預かり保育士 11 名、預かり保育ヘルパーを 5 名配置し、預かり保育の充実、そして、保護者の就労支援を行うことができたと評価する。
------------	---

3	事業名	学力向上推進事業	決算書 P. 261
	担当部署	学校指導課 学校指導係	事業費 4,550,347 円
	総合計画施策名	ちむ清らさあるひとの学び育ち	子どもの教育の充実
	教育振興計画基本目標及び施策名	子どもの成長を促し可能性を広げる「学び」の充実	確かな学力の向上

事業概要	学力向上推進計画に則り、読谷村学力向上推進協議会と連携し、幼児・児童・生徒、一人ひとりの「確かな学力」を向上させ「生きる力」を育む。
令和5年度 取組内容 (計画)	・読谷村学力向上推進協議会に補助金交付 ・ICT 研究指定校の設定を行い、ICT 機器の効果的な活用を推進する。 ・村立中学校中学2年生を対象として教育の日講演会を実施する。
令和5年度 取組状況 (成果)	・各幼稚園小中学校が、自己肯定感の高まりや学び・育ちの実感を意識しながら、組織的に関わることができた。 ・ICT 研究指定校として、読谷中学校が「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業づくりに取り組んだ。 ・教育の日講演会では、生成 AI との共生をテーマにした講演を行いキャリア教育の充実につなげることができた。
自己評価	B 計画どおりの成果があった。 ・学力向上推進実践報告会を行うことで、各学校への研究内容や取組を周知することができた。
課題	・ICT 機器を活用した児童生徒の個別最適な学習の工夫や、授業と連動した自主学習の取り組み。
次年度以降の 取組内容 (課題対応)	・ICT 機器を活用した先進校における個別最適な学びと協同的な学びの一体化に向けての取り組み実践例を紹介する。 ・各専門部の研修において、主体的な学びを実現するためにも授業改革に取り組む。

学識経験者からの意見	本事業は、学校教育の中で一番大きな課題であると捉え、読谷村学力向上推進協議会の組織を基盤に、各学校と課題を明確にして全力で取り組んでいることを評価する。さらに、読谷中学校を ICT 研究指定校として、先進的に取り組み、学力向上に繋がっていることを評価する。
------------	---

4	事業名	小学校学習支援員配置事業	決算書 P. 279
	担当部署	学校指導課 学校指導係	事業費 12,857,946 円
	総合計画施策名	ちむ清らさあるひとの学び育ち	子どもの教育の充実
	教育振興計画基本目標及び施策名	子どもの成長を促し可能性を広げる「学び」の充実	確かな学力の向上

事業概要	児童の基礎・基本の定着、学力の向上を図ることや個々の児童に応じたきめ細やかな学習支援を行うため、小学校5校に1名ずつ学習支援員を配置し、児童の基礎・基本の定着、学力の向上を図る。	
令和5年度 取組内容 (計画)	全学年の児童を対象に小学校5校へ学習支援員を1名ずつ配置し、児童の学習意欲の向上と基礎学力定着への支援を行う。	
令和5年度 取組状況 (成果)	・小学校5校へ学習支援員を1名ずつ配置し、各学校において課題が見られる学年への学習支援を行うことができた。 令和5年度学びのたしかめ 算数の平均正答率 ・4学年 37.7%（県：41.2% 中頭：39.9%） ・5学年 59.4%（県：61.6%、中頭：61.5%） 令和5年度県到達度調査 算数の平均正答率 ・6学年 46.2%（県：48.2%、中頭：48.3%）	
自己評価	B	計画どおりの成果があった。
		・学習支援員を配置することにより、個々の生徒の能力に応じてきめ細やかな学習支援を行うことができた。
課題	・対象児童生徒の学習内容の理解や、学習意欲向上を図るための継続的な支援 ・学習支援員の安定的な人材確保及び研修の充実	
次年度以降の 取組内容 (課題対応)	・研修内容の充実を図る。 ・学習支援員と教職員の連携を図り、きめ細かな学習支援を行う。	

学識経験者からの意見	本事業の自己評価として、学習支援員を配置することにより、個々の生徒の能力に応じて、きめ細やかな学習支援を行うことができたとある。しかし、「学びのたしかめ」「県到達度調査」の算数の平均正答率は、県平均を下回っているのも事実である。課題を整理し、学習支援員の効果的な活用で算数の学力が伸びることを期待する。
------------	---

5	事業名	小学校教育振興事務運営事業	決算書 P.279
	担当部署	学校指導課 学校指導係	事業費 13,620,939 円
	総合計画施策名	ちむ清らさあるひとの学び育ち	子どもの教育の充実
	教育振興計画基本目標及び施策名	子どもの成長を促し可能性を広げる「学び」の充実	確かな学力の向上

事業概要	村立 5 小学校における教材用備品の購入等や、県外大会派遣などに係る支援を行い、小学校の教育振興及び教育環境の充実を図る。		
令和 5 年度 取 組 内 容 (計 画)	・ 校務用パソコンのリース管理 ・ 教材用備品、楽器備品の購入 ・ 県外大会派遣費補助金の交付		
令和 5 年度 取 組 状 況 (成 果)	・ 教材用備品購入 38 品目（生物顕微鏡、直線専用電動ミシン等） ・ 楽器備品購入 8 品目（学校用オルガン等） ・ 県外大会派遣費補助金交付 1 件 ・ 校務用パソコンの更新（159 台）		
自己評価	B	計画どおりの成果があった。	
		・ 必要な教材用備品、楽器備品を計画どおり整備することができた。 ・ 理科教材備品については、補助事業を活用し、観察・実験を重視した重点設備を整備することができた。 ・ 校務用パソコンの更新を計画的に実施することができた。	
課 題	・ 学習環境の計画的整備 ・ 計画的な教材用備品購入のための各小学校との連携 ・ 校務用パソコンの更新に伴い、校内ネットワーク環境整備の充実		
次年度以降の 取組内容 (課題対応)	・ 各小学校からの教材用備品購入計画書を基に、補助事業等を活用し、継続して教育環境の整備に努める。 ・ 校内ネットワーク環境整備の充実を図る。		

学識経験者からの意見	必要な教材備品、楽器備品、パソコンのリース等を計画どおり整備することができたことは評価できる。 児童の学習活動を充実させるためには、教材教具の充実は欠かせないことから、本事業の充実発展を期待する。
------------	--

6	事業名	中学校学習支援員配置事業	決算書 P. 291
	担当部署	学校指導課 学校指導係	事業費 5,642,031 円
	総合計画施策名	ちむ清らさあるひとの学び育ち	子どもの教育の充実
	教育振興計画基本目標及び施策名	子どもの成長を促し可能性を広げる「学び」の充実	確かな学力の向上

事業概要	特に学習内容の理解・習得に個人差があらわれる数学の教科を学習する中学校1年生を主な対象として、生徒の基礎・基本の定着、学力の向上を図ることや個々の生徒の能力に応じたきめ細やかな学習支援を行うため、中学校2校に1名ずつ学習支援員を配置し、生徒の基礎・基本の定着と学力の向上を図る。		
令和5年度 取組内容 (計画)	・ 中学校2校へ学習支援員を1名ずつ配置する。		
令和5年度 取組状況 (成果)	・ 各中学校に2名の学習支援員を配置することができた。 ・ 個に応じた学習支援を行うことで、つまずきが見られる生徒の学習の定着と学習意欲の向上につなげることができた。 R5年度沖縄県学力到達度調査結果 ・ 中1 数学平均正答率 34.1%（県平均 36.5% 中頭 33.8%）		
自己評価	B	計画どおりの成果があった。	
		・ 個々の生徒の能力に応じてきめ細やかな学習支援を行うことができた。	
課題	・ 対象生徒の学習内容の理解や学習意欲向上を図るための継続的な支援 ・ 学習支援員に対する研修の充実		
次年度以降の 取組内容 (課題対応)	・ 学習支援員と教職員の連携を図り、きめ細かな学習支援を行う。		

学識経験者からの意見	数学は、抽象的な思考力を求める学習教材も多く、つまずく生徒も見られ、個人差も大きくなる教科である。そのために、個に応じたきめ細やかな学習支援が肝要になる。その意味で本事業に教育効果を期待している。
------------	--

7	事業名	中学校教育振興事務運営事業	決算書 P. 291
	担当部署	学校指導課 学校指導係	事業費 12,110,466 円
	総合計画施策名	ちむ清らさあるひとの学び育ち	子どもの教育の充実
	教育振興計画基本目標及び施策名	子どもの成長を促し可能性を広げる「学び」の充実	確かな学力の向上

事業概要	村立2中学校の教材用備品購入等や県内外大会派遣などに係る支援を行い、各中学校の教育振興及び教育環境の充実を図る。		
令和5年度 取組内容 (計画)	・校務用パソコンのリース管理 ・教材用備品、楽器備品の購入 ・県内外大会派遣費補助金の交付		
令和5年度 取組状況 (成果)	・教材用備品購入16品目（ステンレス薬品庫、ロイター板等） ・楽器備品購入4品目（ドラムセット等） ・県内外大会派遣費補助金交付13件 ・校務用パソコンの更新（76台）		
自己評価	B	計画どおりの成果があった。	
		・必要な教材用備品、楽器備品を計画どおり整備することができた。 ・理科教材備品については、補助事業を活用し、観察・実験を重視した重点設備を整備することができた。 ・校務用パソコンの更新を計画的に実施することができた。	
課題		・学習環境の計画的整備 ・計画的な教材用備品購入のための各中学校との連携 ・迅速な大会派遣費補助金交付のための各中学校との連携 ・校務用パソコンの更新に伴い、校内ネットワーク環境整備の充実	
次年度以降の 取組内容 (課題対応)		・各中学校と連携を図り、県内外大会派遣費補助金を迅速に交付する。 ・各中学校からの教材用備品購入計画書を基に、補助事業等を活用しながら、継続して学習環境の整備に努める。 ・校内ネットワーク環境整備の充実を図る。	

学識経験者からの意見	学校教材は、生徒の教育効果を高め、学習理解を助ける上で極めて重要であり、その充実は、学校教育に不可欠である。本事業で、教材備品購入16品目、楽器備品購入4品目、さらに、県内外派遣費補助金交付を13件と事業を完了したことは、評価できる。購入した備品が有効活用されることを期待する。
------------	---

8	事業名	小学校 ICT 環境整備事業	決算書 P.279
	担当部署	学校指導課 学校指導係	事業費 3,533,200 円
	総合計画施策名	ちむ清らさあるひとの学び育ち	子どもの教育の充実
	教育振興計画基本目標及び施策名	子どもの成長を促し可能性を広げる「学び」の充実	確かな学力の向上

事業概要	「わかりやすい授業の実現、子どもたちの情報活用能力の育成」を図るため、ICT 関連の機器を教室や授業に取り入れて活用できる教育環境を整備する。		
令和 5 年度 取 組 内 容 (計 画)	ICT 関連機器の購入を行い、教育環境整備を図る。 教科書改訂に伴う指導者用デジタル教科書を整備する。		
令和 5 年度 取 組 状 況 (成 果)	・ ICT 関連機器の購入 小学校 1 校（液晶ディスプレイ、画面転送装置等） ・ 指導者用デジタル教科書の整備（2 教科）		
自己評価	B	計画どおりの成果があった。	
		ICT 関連機器の購入を行い、教育環境の整備を行うことができた。 教科書改訂に伴い指導者用デジタル教科書を計画的に整備することができた。	
課 題	GIGA スクールの進捗に伴う ICT 機器の計画的整備 計画的な教材用備品等購入のための各小学校との連携		
次年度以降の 取組内容 (課題対応)	今後も ICT 機器を活用しながら、授業を展開することができるよう、各小学校と連携しながら、継続して教育環境の整備に努める。		

学識経験者からの意見	本事業は、ICT 関連機器の購入を行い、ICT 教育環境整備を図り、「わかりやすい授業の実現、児童の情報活用能力の育成」を図る。しかし、デジタル関係の進歩は、目を見張るものがあり、備品整備には、極めて迅速かつ、的確な判断で本事業を推進することが肝要である。
------------	--

9	事業名	中学校 ICT 環境整備事業	決算書 P. 295
	担当部署	学校指導課 学校指導係	事業費 507,760 円
	総合計画施策名	ちむ清らさあるひとの学び育ち	子どもの教育の充実
	教育振興計画基本 目標及び施策名	子どもの成長を促し可能性を広 げる「学び」の充実	確かな学力の向上

事業概要	「わかりやすい授業の実現、子どもたちの情報活用能力の育成」を図るため、ICT 関連機器を教室や授業に取り入れて活用できる教育環境を整備する。		
令和 5 年度 取 組 内 容 (計 画)	ICT 関連機器の購入を行い、教育環境を整備する。		
令和 5 年度 取 組 状 況 (成 果)	・ 機器の老朽化に伴う教材用備品の購入 中学校 1 校（液晶ディスプレイ、画面転送装置等）		
自己評価	B	計画どおりの成果があった。	
		機器の老朽化に伴う教材用備品の購入について、学校と連携を行い計画的に教育環境の整備を行うことができた。	
課 題	・ 電子黒板の経年劣化による故障対応 ・ 計画的な教材用備品購入のための各中学校との連携		
次年度以降の 取組内容 (課題対応)	ICT 関連機器の計画的な更新		

学識経験者からの意見	ICT 関連機器の進歩は著しく、そのための対応も大変であろう。しかし、生徒の情報活用能力の育成は、極めて重要であることから、本事業の取り組みに多いに期待している。
------------	---

10	事業名	校内自立支援室事業	決算書 P. 265
	担当部署	学校指導課 学校指導係	事業費 2,610,855 円
	総合計画施策名	ちむ清らさあるひとの学び育ち	子どもの教育の充実
	教育振興計画基本目標及び施策名	子どもの成長を促し可能性を広げる「学び」の充実	確かな学力の向上

事業概要	不登校児童生徒及び登校できるが教室に入れない児童生徒に対し、個々の状況に応じた学習支援を行う等、多様な学習の機会を確保し、児童生徒の社会的自立を促す。		
令和5年度 取組内容 (計画)	中学校1校へ校内自立支援員を配置し、学級担任等と連携を行いながら、校内自立支援室を利用する生徒個々の状況に応じた学習支援等を行う。		
令和5年度 取組状況 (成果)	校内自立支援員1名配置（読谷中学校） 支援人数（延べ1,365名） ・支援対象人数31名（うち支援室を利用した人数 20名） ・学級で授業を受けることができるようになった人数17名		
自己評価	B	計画どおりの成果があった。	
		校内自立支援員を1名配置したことにより、利用する生徒個々の状況に応じた学習支援等を行うことができた。	
課題	・村立中学校2校における校内自立支援員の配置 ・校内自立支援の利用に繋がっていない生徒への支援について		
次年度以降の 取組内容 (課題対応)	・現在未配置である1校（古堅中学校）についても校内自立支援員の配置を検討する。 ・校内自立支援室の利用に繋がっていない生徒への支援については、ICT活用等を含め多様な学習機会の創出を検討する。		

学識経験者からの意見	本事業は、不登校生徒及び教室で授業が受けられない生徒に対する教育支援事業である。校内自立支援員1名による支援人数が述べ1,365名、そして、学級で授業を受けることができるようになった人数も17名の成果がある。 支援員1名でも大きな教育効果があることから、支援員の増員を期待する。
------------	--

11	事業名	中学生海外ホームステイ派遣事業	決算書 P. 293
	担当部署	学校指導課 学校指導係	事業費 2,724,960 円
	総合計画施策名	ちむ清らさあるひとの学び育ち	子どもの教育の充実
	教育振興計画基本目標及び施策名	子どもの成長を促し可能性を広げる「学び」の充実	確かな学力の向上

事業概要	創造性、国際性に富み社会に貢献する人材の育成を図るため、本村在住の中学生を英語圏へ派遣する。		
令和5年度 取組内容 (計画)	・村内在住中学生の海外派遣実施及び費用補助を行う。 (予定人員：6名) ・派遣終了後における報告会の開催		
令和5年度 取組状況 (成果)	・海外ホームステイ派遣6名 ・令和5年11月24日 報告会開催 ・物価高騰等により費用の増額が考えられることから、保護者の負担軽減を行うために補助率の改正を行った。		
自己評価	B	計画どおりの成果があった。	
		・6名の上限に対して37名の申込があったが、計画どおりに選考することができた。 ・派遣補助の増額を行い、人材育成支援の充実を図ることができた。	
課題	・派遣費用が高額になるため、経済的状況が厳しい世帯の生徒が応募しづらく、その対応が必要である。		
次年度以降の 取組内容 (課題対応)	・経済的理由で応募が厳しい世帯に対して、補助率の引き上げや全額補助の検討を行う。		

学識経験者からの意見	本事業は、英語圏へ中学生海外派遣実施と費用補助を行うものである。本事業は、英語圏の家族との生活体験を行うことにより、世界観を広げる効果のある教育のひとつである。まさしく、本物の英語教育であろう。しばらく中断していた中学生海外ホームステイ派遣事業の復活を喜んでいる。課題に取り上げた内容は、今後の努力に期待する。
------------	---

3) 健やかな体の育成

12	事業名	給食調理場管理運営事業	決算書 P. 347
	担当部署	給食調理場 給食係	事業費 1,908,586 円
	総合計画施策名	ちむ清らさあるひとの学び育ち	子どもの教育の充実
	教育振興計画基本目標及び施策名	子どもの成長を促し可能性を広げる「学び」の充実	健やかな体の育成

事業概要	学校給食法及び読谷村立学校給食調理場運営方針に基づく学校給食運営をめざすため、適正かつ円滑な村立給食調理場の管理運営を行う。また、給食会計事務を総括し、適正かつ円滑な給食会計の管理運営を行う。
令和5年度 取組内容 (計画)	安全・安心な学校給食の提供や食育の推進を図るため、各給食調理場や給食会計事務を総括し、適正かつ円滑な管理運営を行う。
令和5年度 取組状況 (成果)	① 令和5年度給食費徴収率：99.5 %（令和4年度 99.77%） ② 児童生徒へ学校給食の理解と知識の増進を図るため学校給食ポスターコンクールを開催。
自己評価	B 計画どおりの成果があった。 保護者の理解と学校事務担当者の努力もあり徴収率 99.5%とすることができた。
課題	給食費未納者を増やさないような取組の継続実施 給食会計の公会計化検討
次年度以降の 取組内容 (課題対応)	学校事務職員と連携し、給食費未納の方への声掛けや文書での通知を継続して行う。

学識経験者からの意見	学校給食の運営に関しては、保護者や各学校、学校給食調理場職員の理解と協力のおかげで、適正かつ円滑な給食調理場の管理運営ができていることを評価する。中でも、給食費の納付率が高いことは、学校給食への保護者からの「信頼と期待」の証と捉えたい。
------------	--

13	事業名	給食調理場運営事業（読谷・読谷第二）	決算書 P. 347～P. 353
	担当部署	給食調理場 給食係	事業費 130,663,326 円
	総合計画施策名	ちむ清らさあるひとの学び育ち	子どもの教育の充実
	教育振興計画基本目標及び施策名	子どもの成長を促し可能性を広げる「学び」の充実	健やかな体の育成

事業概要	「子ども達の豊かな心と丈夫な体をつくる学校給食」を基本に、食の安全・安心、栄養バランスのとれた美味しい給食供給、児童生徒の健康、食育及び村民の食生活改善に寄与する学校給食運営をめざす。	
令和5年度 取組内容 (計画)	7小中学校の児童生徒へ学校給食衛生管理基準等に基づき、衛生管理を徹底し、栄養バランスのとれた美味しく、安全・安心な給食の提供を行う。食育推進のため、給食提供方法の工夫や栄養士による給食指導を実施する。	
令和5年度 取組状況 (成果)	栄養士・調理員において衛生管理を徹底した上で、村内小中学校の児童生徒に対し給食の提供を実施するとともに、行事食による児童生徒が給食を楽しめるような食育を実施した。(絵本の給食、スポーツ応援給食、食育の日、給食週間等) また、児童生徒が考案した給食メニューの提供や中学3年生を対象としたバイキング給食を実施した。 栄養士による給食指導や特別授業により、食への関心を持ってもらえるように取り組みを実施した。	
自己評価	B	計画どおりの成果があった。
	給食が原因となる食中毒や危険異物の混入はなく、安全・安心な給食提供を行えた。児童生徒が考案したメニューの提供など工夫をすることで食への興味と関心を高め、食育の推進を図ることができた。	
課題	物価高騰に伴う給食食材費対応方法の検討 給食残量を少なくするような食育の取り組み	
次年度以降の 取組内容 (課題対応)	物価高騰の状況を注視し、安定した給食提供を図るための取り組みを行う。 子どもたちが苦手な食材も食べられるよう、食育の日における同一メニューの継続提供	

学識経験者からの意見	安全・安心な学校給食の提供ができたことは、当たり前のことではあるが、一番の成果であり、賞讃する。また、行事食、絵本の給食、スポーツ応援給食、バイキング給食等工夫満載の学校給食提供に頭が下がる。今後も安心・安全で楽しい学校給食に期待する。
------------	--

14	事業名	給食調理場建設事業	決算書 P. 353
	担当部署	給食調理場 給食係	事業費 40,643,230 円
	総合計画施策名	ちむ清らさあるひとの学び育ち	子どもの教育の充実
	教育振興計画基本目標及び施策名	子どもの成長を促し可能性を広げる「学び」の充実	健やかな体の育成

事業概要	老朽化した給食調理場の改築等を行い、衛生基準に適合する施設整備等を行う。	
令和５年度 取組内容 (計画)	老朽化に伴い、機能移転した古堅給食調理場の解体工事を行う。 解体後の跡地については、次期調理場建設地として位置づけるが、当面の間、学校駐車場として整備を行う。	
令和５年度 取組状況 (成果)	古堅給食調理場解体工事 跡地における駐車場整備	
自己評価	B	計画どおりの成果があった。
	老朽化した古堅給食調理場施設を解体し、空いたスペースを学校駐車場として整備することにより、利便性向上が図られた。	
課題	稼働中の読谷給食調理場及び読谷第二給食調理場の施設維持管理	
次年度以降の 取組内容 (課題対応)	古堅給食調理場の解体工事を終えたため、ここ数年に継続してきた調理場建設、改修はひとまず終了する。稼働する施設の適切な維持管理を図る。	

学識経験者からの意見	老朽化した古堅給食調理場施設を解体し、その跡地に駐車場として整備を行ったことは評価できる。ただし、50年後を見据えて次期調理場建設地として確保しておくことが大事である。
------------	--

4) 多様なニーズに対応した教育支援の充実

15	事業名	小中学校就学援助事業	決算書 P. 279、P. 291
	担当部署	教育総務課 教育総務係	事業費 72,959,374 円
	総合計画施策名	ちむ清らさあるひとの学び育ち	子どもの教育の充実
	教育振興計画基本目標及び施策名	子どもの成長を促し可能性を広げる「学び」の充実	多様なニーズに対応した教育支援の充実

事業概要	経済的理由により就学困難と認められる児童生徒の保護者に対し、必要な援助を行うことにより、義務教育の円滑な実施を図るとともに、子どもに学びの機会等を十分に与え「貧困の連鎖」を防止する。
令和5年度 取組内容 (計画)	①要保護対象者に修学旅行費を支給する。 ②準要保護対象者に、学用品費、通学用品費、学校給食費、校外活動費、新入学用品費（新入学準備金）、修学旅行費を支給する。 ③全児童生徒へのチラシ及び申請書配布、オリエンテーションや就学時健診でのチラシ配布、広報掲載等就学援助の周知に努める。
令和5年度 取組状況 (成果)	①要保護対象者に修学旅行費の支給を行った。 対象者：5名（小学校：2名、中学校：3名） ②準要保護対象者に学用品費や学校給食費等の支給を行った。 対象者：794名（小学校：520名、中学校：274名）
自己評価	B 計画どおりの成果があった。 経済的理由により就学困難と認められる児童生徒の保護者に対して、必要な援助を行うことで、対象児童生徒が安心して学ぶことができ、教育の振興が図られた。
課題	就学援助規則の認定基準に児童扶養手当の全部支給を受けている者とあるが、近隣市町村では児童扶養手当を受けている者としており、一部支給でも対象としている。
次年度以降の 取組内容 (課題対応)	就学援助の拡充を図るため、就学援助規則の認定基準における児童扶養手当の受給要件に関する見直し検討を行う。

学識経験者からの意見	教育は、その人を幸せにするために施されることから、本事業が丁寧に推進されていることを評価する。今後は、就学援助の拡充のための努力もお願いしたい。
------------	--

16	事業名	小中学校特別支援補助事業	決算書 P. 279、P. 291
	担当部署	教育総務課 教育総務係	事業費 3,983,146 円円
	総合計画施策名	ちむ清らさあるひとの学び育ち	子どもの教育の充実
	教育振興計画基本目標及び施策名	子どもの成長を促し可能性を広げる「学び」の充実	多様なニーズに対応した教育支援の充実

事業概要	小中学校の特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、特別支援教育就学奨励費を給付し、障がいの有無に関わらず、全ての子どもが安心して学んでいくことができる特別支援教育の振興を図る。		
令和5年度 取組内容 (計画)	特別支援教育就学奨励費対象者に、学用品費、通学用品費、学校給食費、校外活動費、新入学用品費、修学旅行費を支給する。		
令和5年度 取組状況 (成果)	特別支援教育就学奨励費対象者に、学用品費、通学用品費、学校給食費、校外活動費、新入学用品費、修学旅行費について、就学援助の支給単価の1/2額の支給を行った。 対象者：105名（小学校：78名、中学校：27名）		
自己評価	B	計画どおりの成果があった。	
		学用品費や学校給食費等を支給することにより、特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者の経済的負担軽減を図り、特別支援教育の振興を図ることができた。	
課題	特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者が対象と限られているため、周知については、文書と申請書の配布を行っているが、申請していない保護者がいると思われる。		
次年度以降の 取組内容 (課題対応)	学校事務と連携し、対象児童生徒については、確実に申請書の回収を行う。		

学識経験者からの意見	特別支援教育就学奨励費は、「学校教育法施行令第22条の3」に該当する子どもが安心して学んでいくことができるように支援する事業である。対象者105名（小学校78名、中学校27名）に適切に支援することができた点を評価する。
------------	---

17	事業名	特別支援教育支援員配置事業	決算書 P. 259
	担当部署	学校指導課 学校指導係	事業費 74,394,768 円
	総合計画施策名	ちむ清らさあるひとの学び育ち	子どもの教育の充実
	教育振興計画基本目標及び施策名	子どもの成長を促し可能性を広げる「学び」の充実	多様なニーズに対応した教育支援の充実

事業概要	心身に障がいがあり、特別な支援を要する幼児児童生徒に対応した支援を行うため、各幼稚園及び各小中学校に特別支援教育支援員等、学校指導課に特別支援教育専門員を配置する。		
令和5年度 取組内容 (計画)	・ 村立幼稚園及び小中学校へ特別支援教育支援員及び特別支援教育ヘルパー等、学校指導課へ特別支援教育支援専門員を配置し、対象幼児及び児童・生徒の学校生活の支援を行う。 ・ 各種支援員等の安定確保を図るため、処遇改善を検討する。		
令和5年度 取組状況 (成果)	村立幼稚園、小中学校に特別支援教育支援員（19名）及び特別支援教育ヘルパー（23名）を配置 学校指導課に特別支援教育支援専門員（1名）を配置 村立小学校2校及び村立幼稚園2園において医療的ケア児対応の看護師（4名）を配置 各種支援員等の処遇改善を実施した。		
自己評価	B	計画どおりの成果があった。	
		・ 処遇改善を行うことにより看護師、特別支援ヘルパーを確保でき、特別な支援を要する幼児、児童生徒の学校生活支援を行うことができた。	
課題	・ 安定的な人材確保 ・ 支援の充実化を図るための資質向上に向けた取り組み		
次年度以降の 取組内容 (課題対応)	・ 特別支援教育支援員、特別支援教育ヘルパーの研修の充実		

学識経験者からの意見	人材確保の厳しい昨今、処遇改善等を行うことにより、必要な看護師、特別支援教育ヘルパーを確保でき、特別支援を要する幼児、児童生徒の学校生活支援を行うことができたと評価する。安定的な人材確保にさらなる努力を期待する。
------------	--

18	事業名	特別支援教育推進事業	決算書 P. 263
	担当部署	学校指導課 学校指導係	事業費 1,617,091 円
	総合計画施策名	ちむ清らさあるひとの学び育ち	子どもの教育の充実
	教育振興計画基本目標及び施策名	子どもの成長を促し可能性を広げる「学び」の充実	多様なニーズに対応した教育支援の充実

事業概要	特別な支援を要する幼児・児童・生徒の教育（就学）支援を行う。 特別支援教育に携わる教職員を対象に研修を実施し、対象の児童生徒が、充実して学校生活を過ごせるよう支援する。		
令和5年度 取組内容 (計画)	・教育支援委員会を随時開催し、就学に関する支援を行う。 ・支援対象の幼児・児童・生徒について心理検査及び言語検査の実施。 ・保護者面談の実施 ・幼小中学校に巡回相談員を派遣する。		
令和5年度 取組状況 (成果)	教育支援委員会の開催 12 回、就学支援 116 名 特別支援教育コーディネーターの定例会（研修会含）を 11 回、巡回相談 21 回 就学先に向けての保護者面談及び親子面談 33 件 検査結果のフィードバック 60 件		
自己評価	B	計画どおりの成果があった。	
		計画的に教育支援委員会を開催することで、適正な就学支援を行うことができた。	
課題	・検査やフィードバックを実施し、教育支援委員会で審議を行うために、関係機関や保護者との日程調整に時間を要する。 ・学校指導課における特別支援教育担当職員の配置 ・巡回相談員の確保 ・特別な支援を要する幼児・児童・生徒一人ひとりの教育ニーズに応じたより適正な教育や支援の実施に向けた取り組み		
次年度以降の 取組内容 (課題対応)	・特別支援教育に携わる教職員の研修の充実を図る。 ・学校指導課における特別支援教育担当職員の配置を検討する。 ・巡回相談員の確保に努める。		

学識経験者からの意見	教育支援委員会、特別支援教育コーディネーター、特別支援教育支援員の定例会や研修会等を開催し、教育支援の充実を図っていると評価する。さらに、巡回相談員も巡回相談に鋭意、努力していることも評価できる。
------------	--

2 生涯を通した学びの循環と読谷の地域文化の継承・創造・発展

1) 生涯学習の充実

19	事業名	生涯学習事務運営事業	決算書 P. 311
	担当部署	生涯学習課 生涯学習係	事業費 14,726,878 円
	総合計画施策名	ちむ清らさあるひとの学び育ち	生涯学習の充実
	教育振興計画基本目標及び施策名	生涯を通した学びの循環と読谷の地域文化の継承・創造・発展	生涯学習の充実

事業概要	生涯学習を推進するため、生涯学習推進基本計画を策定するとともに地域における公民館活動支援及び社会教育関係団体への支援を行う。
令和5年度 取組内容 (計画)	・第2次読谷村生涯学習推進計画の策定 ・学習等供用施設の修繕（5か所） ・社会教育関係団体への補助等 ・コミュニティ助成金の活用による備品購入
令和5年度 取組状況 (成果)	第2次読谷村生涯学習推進計画については、スポーツ振興計画及び子どもの読書活動推進計画を包含し、読谷村まなびあいプランとして策定 学習等供用施設の消防設備修繕（5か所） コミュニティ助成金を活用し自治会用備品の購入 （楚辺自治会 備品 43点） 社会教育関係団体への補助（5団体）
自己評価	B 計画どおりの成果があった。 生涯学習、スポーツ振興、読書活動を網羅した形で生涯学習における根幹となる読谷村まなびあいプランを策定することができた。 学習等供用施設の修繕やコミュニティ助成金の活用を図ることで自治会における生涯学習環境の向上につなげた。
課題	策定した読谷村まなびあいプランの周知及び計画進行管理 社会教育関係団体の支援
次年度以降の 取組内容 (課題対応)	読谷村まなびあいプランを村ホームページや公式 LINE・FM よみたん等情報配信、各種団体の研修及び会議がある場合に概要版（動画）を上映してもらう等、広く周知し、村民と協働で推進していく。

学識経験者からの意見	「第2次生涯学習推進計画」「スポーツ振興」「子どもの読書活動」を包括した「読谷村まなびあいプラン」が策定され評価できる。社会教育団体への補助は、各団体の自主的な活動を支援するためのものであり社会教育団体の発展のために支援の継続を望む。
------------	---

20	事業名	社会教育関係指導者育成事業	決算書 P.313
	担当部署	生涯学習課 生涯学習係	事業費 114,890 円
	総合計画施策名	ちむ清らさあるひとの学び育ち	生涯学習の充実
	教育振興計画基本 目標及び施策名	生涯を通した学びの循環と読谷 の地域文化の継承・創造・発展	生涯学習の充実

事業概要	社会教育関係団体（青年会・婦人会・子ども会・PTA）及び読公連、社会教育委員が一同に会し研修会を行う。また、ジュニアリーダー研修会では、様々なプログラムを通して人材育成を行う。		
令和5年度 取組内容 （計画）	社会教育関係団体合同研修会及び合同ミーティングの開催 読谷村及び中頭地区ジュニアリーダー研修会の実施		
令和5年度 取組状況 （成果）	・社会教育関係団体合同研修会 2回延べ39名 ・読谷村ジュニアリーダー研修会 9回延べ162名 ・中頭地区ジュニアリーダー宿泊研修 1回3名 令和6年3月に（読谷村子ども会育成連絡協議会）読子連ジュニアリーダークラブ（中学生8名）を結成することができた。		
自己評価	B	計画どおりの成果があった。	
		研修等を通して、課題共有を図り、その課題を解決する為の目標設定を行うことができた。	
課題	団体における課題等の解決手法への取り組み。		
次年度以降の 取組内容 （課題対応）	各団体を対象とする課題解決に向けた研修を実施する。 研修後のフォローアップ及び検証作業を引続き行う。		

学識経験者からの意見	本研修会を通して各社会教育団体の課題を共有し、解決へ向け目標が設定できたことは評価できる。ジュニアリーダー研修会に延べ162名の参加者があり、子ども会活動の活性化に向け評価できる。今後とも各研修の継続を望む。
------------	--

21	事業名	まなびフェスタ事業	決算書 P.313
	担当部署	生涯学習課 生涯学習係	事業費 471,961 円
	総合計画施策名	ちむ清らさあるひとの学び育ち	生涯学習の充実
	教育振興計画基本 目標及び施策名	生涯を通した学びの循環と読谷 の地域文化の継承・創造・発展	生涯学習の充実

事業概要	生涯学習に関わる活動を展開している各種団体・組織・部署の活動を集約し、広く村民へ活動を紹介することにより、村民の社会教育・生涯学習活動への参加促進を図り、ふれあい交流館及び自治公民館等で活動する団体等の成果発表を行う。		
令和５年度 取組内容 (計画)	まなびフェスタの開催 （生涯学習講演会、社会教育関係団体活動展示、サークル舞台及び展示発表、子ども体験活動）		
令和５年度 取組状況 (成果)	食育講演会、サークル発表、子ども体験わくわくワーク（お仕事体験）、OIST 科学ミニレクチャー、SDG’ S 体験、モルック体験、婦人会フリマ、団体活動展示 ・ ２日間で 41 項目の講座等を開催し、延べ 4,300 名参加があった。		
自己評価	B	計画どおりの成果があった。	
		体験コーナー等の増加により昨年度より多くの村民が参加し、子どもから大人までを対象とした様々な学びの機会とすることができた。	
課題	企画運営の工夫		
次年度以降の 取組内容 (課題対応)	「学びの機会」にもなるまなびフェスタなので、多種多様な学びが行えるコーナー（飲食含む）を設定し、その運営にも多くの村民が関わり、参加する機会を創り出せるよう企画実施する。		

学識経験者からの意見	2 日間で 41 項目の多種多様な講座（講演会、体験、展示、フリマ、舞台発表等）に延べ 4,300 名の参加があった。「学びの機会提供」に寄与したものと評価できる。今後とも、多くの村民が「関わり参加できる機会」を創り出せるよう取組の充実を望む。
------------	--

22	事業名	ふれあい交流館自主事業	決算書 P. 329
	担当部署	生涯学習課 文化センター係	事業費 845,209 円
	総合計画施策名	ちむ清らさあるひとの学び育ち	生涯学習の充実
	教育振興計画基本 目標及び施策名	生涯を通した学びの循環と読谷の 地域文化の継承・創造・発展	生涯学習の充実

事業概要	村民が、興味を持って取り組める講座や教室を開催し、閉講後も自主的に活動を継続できるような生涯学習のきっかけづくりを行う。 村民を対象とした講座を行うことにより、生涯学習の充実に繋げる。		
令和5年度 取組内容 (計画)	ふれあい交流館自主事業として16の講座、教室を計画し実施する。 自治公民館の事業活性化のため、事業委託を行い、自治公民館自主講座等を開催する。		
令和5年度 取組状況 (成果)	講座・教室開催数及び参加者数 開催数：26回 延べ人数：1,180名 自治会主催公民館講座への支援（2自治会：楚辺、大湾）		
自己評価	B	計画どおりの成果があった。	
		多くの講座、教室を開催したことで、村民に対する生涯学習のきっかけづくりに繋がり、生涯学習の推進が図られた。 講座への申込みについて、電子申請を活用したことで、村民の利便性向上に繋がるとともに事務の効率化を図ることができた。	
課題	時宜にあった講座、教室の把握		
次年度以降の 取組内容 (課題対応)	「集い、学び、交流する」を事業基本とし、ニーズ調査と世間で注目されている講座、教室情報を幅広く収集し、企画等を行う。		

学識経験者からの 意見	多種多様な16項目の講座・教室に延べ1,180名の村民の参加があった。「学習機会の提供」に寄与したものと評価できる。 住民ニーズの把握と先進の情報を収集した取組の充実を望む。
----------------	--

23	事業名	文化センター施設管理運営事業	決算書 P. 329
	担当部署	生涯学習課 文化センター係	事業費 57,616,326 円
	総合計画施策名	ちむ清らさあるひとの学び育ち	生涯学習の充実
	教育振興計画基本 目標及び施策名	生涯を通した学びの循環と読谷 の地域文化の継承・創造・発展	生涯学習の充実

事業概要	鳳ホールとふれあい交流館の複合施設である文化センターの施設運営を行う。		
令和5年度 取組内容 (計画)	保守点検等による文化センター施設維持管理 施設修繕対応、生涯学習施設としての適切な利活用を図る。		
令和5年度 取組状況 (成果)	維持管理に関する個別施設計画の策定 鳳ホール空調改修工事の実施 ・鳳ホール：貸館日数107日、貸館件数107件、入場者数25,919名 ・ふれあい交流館：貸館日数306日、貸館件数1,968件、来館者数49,693名		
自己評価	B	計画どおりの成果があった。	
	保守点検により、指摘のあった個所については、修繕をして利用しやすい施設環境を保持する事ができた。 台風の影響で損壊した空調設備修繕を迅速に対応したことで、事業や貸館に影響なく実施、対応する事ができた。		
課題	施設、設備の経年劣化が見られる箇所があるため、今後も施設修繕及び施設備品の入れ替えを年次計画的に行う必要がある。 死角になる個所の防犯対策(裏口、職員駐車場、2Fトイレ、ピロティ)		
次年度以降の 取組内容 (課題対応)	本施設は、芸能、芸術文化活動等の成果を発表する場並びに、村民の学習の場、憩いの場、交流の場であり、いつでも、だれでも、気軽に利用できる施設としていることから、十分な管理を行い、安全で快適な環境の保持に努める。令和6年度からは、個別施設計画に基づき管理する。 防犯対策として防犯カメラの設置を行う。		

学識経験者からの意見	点検結果から空調機器改修工事等、迅速で適切に対応され評価される。経年劣化箇所は、計画的な修繕及び施設の入れ替えは必要と考える。今後とも、施設の適正な維持管理を望む。
------------	--

24	事業名	鳳ホール事務運営事業	決算書 P. 333
	担当部署	生涯学習課 文化センター係	事業費 1,002,349 円
	総合計画施策名	ちむ清らさあるひとの学び育ち	生涯学習の充実
	教育振興計画基本 目標及び施策名	生涯を通した学びの循環と読谷の 地域文化の継承・創造・発展	生涯学習の充実

事業概要	鳳ホールに関する事務運営を行う。	
令和5年度 取組内容 (計画)	沖縄県公立文化施設協議会、全国公立文化施設協会へ負担金を拠出し、読谷村文化協会へ補助金を交付することで、文化活動支援を行う。	
令和5年度 取組状況 (成果)	以下の団体に負担金を拠出し、補助金を交付することにより、文化振興活動への支援を行った。 【負担金】 沖縄県公立文化施設協議会、全国公立文化施設協会 【補助金】 読谷村文化協会 鳳ホール来場者数：25,919 名 読谷村文化協会の拠点を文化センター団体事務室内に設けることができた。	
自己評価	B	計画どおりの成果があった。
	沖縄県や全国の公立文化施設協会へ負担金を拠出することで、公立文化施設協会の普及発展に寄与した。 また、村文化協会へ補助金を交付し活動を支援することで、村文化協会活動の継承発展に寄与した。	
課題	地域伝統芸能保存事業(映像記録保存事業)について、文化振興の観点から、文化振興課との協議が必要と考える。	
次年度以降の 取組内容 (課題対応)	地域伝統芸能保存事業(映像記録保存事業)について、文化振興の観点から、文化振興課との協議の上、今後の方向性について協議調整を行う。	

学識経験者からの意見	文化活動の休止と厳しい時期もあったが、昨年度から鳳ホール利用者が増え、文化意識高揚に寄与していると評価される。読谷村文化協会の拠点が団体室へ設けられ評価できる。補助金は、地域文化の継承・創造・発展に寄与するもので支援の継続を望む。
------------	---

25	事業名	図書館運営事業		決算書 P. 315
	担当部署	生涯学習課 図書館係	事業費	32,862,338 円
	総合計画施策名	ちむ清らさあるひとの学び育ち	生涯学習の充実	
	教育振興計画基本目標及び施策名	生涯を通した学びの循環と読谷の地域文化の継承・創造・発展	生涯学習の充実	

事業概要	図書館資料及びレファレンス機能を活用し、地域課題の解決に対応する情報を広く提供し、暮らしの中に役立つ情報センターとしての機能を有する地域支援型図書館として、村民サービスに寄与する。		
令和5年度 取組内容 (計画)	①図書館資料の貸出サービス、②予約・リクエスト・レファレンスサービス、③講座や主催事業の実施、④図書館見学・職場体験等の受け入れ、⑤嘉手納町立図書館との相互利用展開、⑥学習室等による学習の場の提供、⑦図書館ボランティア活動支援、⑧電子図書館サービス、⑨（仮称）読谷村総合情報センターへの移行に向けての調整・整備		
令和5年度 取組状況 (成果)	・ ①貸出件数（98,729 件）、②利用人数（21,428 人）、③予約・リクエスト（2,058 件）、④レファレンス（3,263 件）、⑤嘉手納町立図書館の相互利用人数・貸出件数（5,258 人、25,125 件）、⑥学習室利用（4,339 人）、⑦インターネット利用（174 人）、⑧A Vブース利用（499 人）、⑨電子図書館の貸出冊数、利用人数（312 人、1,091 件） ・ 来館が困難な利用者へ電子図書館サービスを継続 ・ 電子書籍の購入（電子書籍所蔵 1,337 冊、電子雑誌閲覧サービスタイトル数 198 タイトル） ・ 読谷村ブックスタート事業の一環として、乳児健診会場にてブックスタートパックの配付（4 回、87 セット配布） ・ 「第2次読谷村生涯学習推進基本計画」、「読谷村スポーツ振興計画」の策定と合わせ「第四次読谷村子どもの読書活動推進計画」の策定 ・ （仮称）読谷村総合情報センター内への移転に向け、図書館運営について民間事業者との調整、移管予定の郷土資料の確認・登録作業を継続実施		
自己評価	B	計画どおりの成果があった。	
		各種講座やイベントについては台風の影響等も受けたが、多くの自主事業を実施することができた。貸出冊数、利用人数等については前年度実績を上回る利用となり、読書活動の充実に寄与した。	
課題	・ 電子図書館の利活用促進 ・ （仮称）読谷村総合情報センターへの移行に向けての調整・整備 ・ 書庫の収納スペース不足による閉架資料の分散保管（恒常的課題）		

次年度以降の 取組内容 (課題対応)	(仮称)読谷村総合情報センターへの移行に向けて、引き続き調整を行う。
--------------------------	------------------------------------

学 識 経 験 者 か ら の 意 見	「第四次読谷村子ども読書活動推進計画」が策定され評価される。貸出件数利用者数ともに前年度を上回る実績で成果があった。また、サービス業務も色々取り組まれ、読書活動の充実に寄与していると評価される。 電子図書館は、来館困難者へのサービスの継続と機能の充実を望む。
---------------------------	---

2) 生涯スポーツの推進

26	事業名	各種スポーツ大会運営事業		決算書 P. 345
	担当部署	生涯学習課 スポーツ振興係	事業費	417,342 円
	総合計画施策名	ちむ清らさあるひとの学び育ち	スポーツの推進	
	教育振興計画基本目標及び施策名	生涯を通した学びの循環と読谷の地域文化の継承・創造・発展	生涯スポーツの推進	

事業概要	全てのスポーツを行う村民を対象に、生涯にわたりスポーツに親しみ、体力の向上や健康増進を図ることを目的とする。		
令和5年度 取組内容 (計画)	下記の大会を開催する。 ①教育長旗争奪県中学校ソフトボール大会 ②読谷けんこうまつり（古希・シニアソフトボール大会、新体力テスト） ③新春トリムマラソン及び小学生駅伝大会 ④リゾートウォーキング大会		
令和5年度 取組状況 (成果)	①教育長旗争奪中学校ソフトボール大会 男子2女子16チーム参加 ②読谷けんこうまつり（古希・シニアソフトボール大会 5チーム参加、新体力テスト 40名参加） ③新春トリムマラソン及び小学生駅伝大会 延べ352名参加 （トリムマラソン207名 小学生駅伝145名 ※5名×29チーム） ④リゾートウォーキング大会 25名参加		
自己評価	B	計画どおりの成果があった。	
		計画していた大会について実施することができ、村民の体力向上や健康増進を図ることに寄与できた。	
課題	小学生駅伝大会の開催について、学校行事（日曜参観）と重なり参加できなかった小学校があった。		
次年度以降の 取組内容 (課題対応)	日程を決める段階で、これまでに行っていた各競技の大会日程の確認だけではなく、各学校の行事日程（家庭の日や日曜参観）等も確認を行い、土曜日の開催検討も含めてより多くの方に参加してもらえるように努めたい。		

学識経験者からの意見	「読谷けんこうまつり」「新春トリムマラソン」「小学生駅伝大会」「教育長旗争奪中学校ソフトボール大会」が計画的に実施され評価される。各大会日程等については、学校、自治会、社会教育団体と連携し、多くの村民がスポーツに親しめるよう調整を望む。
------------	--

27	事業名	各種スポーツ教室運営事業	決算書 P. 345
	担当部署	生涯学習課 スポーツ振興係	事業費 1,396,368 円
	総合計画施策名	ちむ清らさあるひとの学び育ち	スポーツの推進
	教育振興計画基本目標及び施策名	生涯を通した学びの循環と読谷の地域文化の継承・創造・発展	生涯スポーツの推進

事業概要	全ての村民を対象に、気軽にスポーツに取り組めるような教室・講座を行う。ニュースポーツに関心を持ってもらう。気軽にスポーツを実施できる環境づくりを目的とする。		
令和5年度 取組内容 (計画)	スポーツ教室の開催 スポーツ指導者講習会の開催		
令和5年度 取組状況 (成果)	親子水泳教室7回 延べ104名 陸上教室1回 27名 ラグビー教室7回 延べ81名 スポーツコンディショニング会議 参加者約800名 コンディショニング講座8回 延べ64名 各教室等は、インターネットによる受付を実施		
自己評価	B	計画どおりの成果があった。	
		各種スポーツ教室を開催することにより、村民が気軽にスポーツをする環境づくりを行った。コンディショニング会議・講座では、健康づくりにも寄与する体調の整え方を広く村民に周知することができた。	
課題	教室によっては参加希望者の差があるため、開催する教室の募集方法もしくは対象者を検討する必要がある。		
次年度以降の 取組内容 (課題対応)	スポーツ教室の開催にあたり、種目によっては募集人数に対する参加人数が少ない種目があるので、全体の案内チラシとは別に呼びかけ方法の工夫に取り組みたい。		

学識経験者からの意見	児童のアンケート調査から運動習慣の「二極化」が問題となっており、スポーツ・運動にもっと関心を持たせることが大事である。「スポーツ教室の開催」は、上記に寄与しており評価される。 参加しやすいような種目や対象者の検討及び広報の工夫を望む。
------------	---

28	事業名	後援団体育成事業	決算書 P. 343
	担当部署	生涯学習課 スポーツ振興係	事業費 13,269,382 円
	総合計画施策名	ちむ清らさあるひとの学び育ち	スポーツの推進
	教育振興計画基本目標及び施策名	生涯を通した学びの循環と読谷の地域文化の継承・創造・発展	生涯スポーツの推進

事業概要	各種団体に補助金等を支出し活動を支援することにより、団体の育成やスポーツ指導が充実し、青少年の健全育成、将来のスポーツ選手の育成につながる。		
令和5年度 取組内容 (計画)	下記の団体に、負担金又は補助金を交付することにより、活動支援を行う。 【負担金】 中頭郡スポーツ協会、沖縄県スポーツ推進委員協議会、中頭地区スポーツ推進委員協議会、中頭地区社会体育研究協議会 【補助金】 読谷村体育協会、少年野球読谷支部、読谷村ソフトボール協会、読谷村ラグビー協会、読谷村サッカー協会		
令和5年度 取組状況 (成果)	各種団体の活動支援、青少年の健全育成、競技力向上、選手の育成などを支援することにつながった。		
自己評価	B	計画どおりの成果があった。	
		各種団体が大会等の実施に取り組み、競技力向上、青少年の健全育成に寄与した。	
課題	①補助金団体以外の種目のスポーツ団体についても協会設立に取り組みたいという個々の相談はあるが協会設立に至っていない。 ②定期大会（総会）の開催が遅い団体があり、補助金申請の時期が遅い団体があった。		
次年度以降の 取組内容 (課題対応)	協会設立に向けて関心のあるスポーツ団体について、助言を行い、支援に取り組みたい。 適切に補助金を執行してもらうためにも、早めの総会の開催を団体に呼びかけていく。		

学識経験者からの意見	各種団体への負担金・補助金交付は、スポーツの普及・振興に寄与しており評価される。協会設立を希望するスポーツ団体への指導助言、各団体との情報提供等、今後とも支援の継続を望む。
------------	--

29	事業名	体育施設運営事業	決算書 P. 355
担当部署	生涯学習課 スポーツ振興係	事業費	97,642,523 円
総合計画施策名	ちむ清らさあるひとの学び育ち	スポーツの推進	
教育振興計画基本目標及び施策名	生涯を通した学びの循環と読谷の地域文化の継承・創造・発展	生涯スポーツの推進	

事業概要	全てのスポーツを行う方を対象に、競技スポーツ及び生涯スポーツの施設として、快適なスポーツ環境を継続して提供できるように維持管理を行う。	
令和5年度 取組内容 (計画)	施設の維持管理を適切に行い、有効に利用してもらう。 下記の主な体育施設について、計画値を設定する。 ①オキハム読谷平和の森球場 182 件 ②読谷村多目的広場 325 件 ③読谷村運動広場 189 件	
令和5年度 取組状況 (成果)	下記のとおり、体育施設を利用してもらうことができた。スポーツキャンプについても受入れを実施することができた。 ① オキハム読谷平和の森球場 274 件 (17,192 名) ② 読谷村多目的広場 284 件 (15,296 名) ③ 読谷村運動広場 221 件 (28,297 名) ④ 読谷村テニスコート 119 件 (1,810 名) ⑤ 読谷村陸上競技場 151 件 (20,038 名) ⑥ 残波岬テニスコート 616 件 (3,533 名) ⑦ ZANPA プレミアム残波岬ボールパーク 112 件 (5,100 名) ⑧ 読谷村トレーニング室 14,949 件 (14,949 名) ⑨ ゆんたんざソフトボール場 100 件 (10,392 名) ⑩ 読谷村体育センター 771 件 (9,598 名)	
自己評価	B	計画どおりの成果があった。
	体育施設の修繕、管理手法の見直しや適切な維持管理を実施したことにより、利用者の増となり、有効活用が図れた。	
課題	予約システムの導入ができておらず、窓口対応に時間を要している。 残波岬テニスコートの当日利用を希望する方について、平日だと役場まで足を運んで手書き及び現金支払で手続きをする必要がある。	
次年度以降の 取組内容 (課題対応)	デジタル社会推進課と連携して、暫定的な措置として、LINE を活用した予約システムの導入について調査研究を進め、実施に向けて取り組んでいる。 オンラインでの予約及びキャッシュレス決済の導入により、利便性を上げる取り組みをしていく必要がある。	

学識経験者からの意見	適切な維持管理をしたことで、各体育施設とも利用が増え、スポーツキャンプの受入れも実施できた。施設が有効利用されたものと評価できる。快適なスポーツ環境が提供できるよう望む。 予約・決済システムについては、便宜性を上げる取り組みを望む。
-------------------	--

30	事業名	屋内運動場整備事業	決算書 P. 357
担当部署	生涯学習課 スポーツ振興係	事業費	118,751,519 円
総合計画施策名	ちむ清らさあるひとの学び育ち	スポーツの推進	
教育振興計画基本目標及び施策名	生涯を通した学びの循環と読谷の地域文化の継承・創造・発展	生涯スポーツの推進	

事業概要	(仮称) 屋内運動場建設工事のための実施設計 北口駐車場整備工事のための実施設計		
令和５年度 取組内容 (計画)	(仮称) 屋内運動場建設工事のための実施設計を実施する。 北口駐車場整備工事のための実施設計を実施する。		
令和５年度 取組状況 (成果)	(仮称) 屋内運動場建設工事のための実施設計を土木建築課と連携して実施した。 北口駐車場整備工事のための実施設計を土木建築課と連携して発注した。		
自己評価	C	計画どおりに実施したが、成果には至らなかった。	
		(仮称) 屋内運動場の実施設計は、予定通りに完了することができたが、北口駐車場整備の実施設計は、業務調整に時間がかかったことにより、発注が遅れ、次年度へ繰越となった。	
課題	(仮称) 屋内運動場について、実施設計の結果、概算工事費が増加しているため、計画内へ納めるための修正が課題となっている。 工事の発注にあたっては、関係機関との調整協議を深化させ、進める必要がある。		
次年度以降の 取組内容 (課題対応)	まちづくり支援事業を活用して、計画的に(仮称) 屋内運動場が建設できるように関係機関との調整を進めていく。		

学識経験者からの意見	(仮称) 屋内運動場建設工事の実施設計が予定通り実施された。 北口駐車場整備工事实施設計が土木建築課と連携し発注できた。 計画的に(仮称) 屋内運動場の建設が進められると評価できる。
------------	---

31	事業名	陸上競技場北側植栽整備事業	決算書 P. 357
	担当部署	生涯学習課 スポーツ振興係	事業費 112,771,956 円
	総合計画施策名	ちむ清らさあるひとの学び育ち	スポーツの推進
	教育振興計画基本目標及び施策名	生涯を通した学びの循環と読谷の地域文化の継承・創造・発展	生涯スポーツの推進

事業概要	読谷村陸上競技場の北風対策としての植栽の整備工事		
令和5年度 取組内容 (計画)	読谷村陸上競技場の北風対策として植栽の整備工事を実施する。		
令和5年度 取組状況 (成果)	読谷村陸上競技場の北風対策として植栽の整備工事を実施した。 読谷村陸上競技場北側植栽整備工事現場技術業務、読谷村陸上競技場北側 植栽整備工事に取り組むことができた。		
自己評価	B	計画どおりの成果があった。	
	令和4年度からの繰越事業として工事及び現場技術業務の発注を行い、工 事を完成させることができた。		
課 題	北側植栽の傾斜がきついため、通常の維持管理での対応が厳しい。 令和5年8月の台風6号により一部植栽及び防風ネットが崩れている。		
次年度以降の 取組内容 (課題対応)	北風の影響が緩和されるという当初の目的を再認識し、どのような方法に よる維持管理が適切であるか、関連業者にも相談して取り組んでいきたく い。 予算を確保し、台風で崩れた箇所の補修を行いたい。		

学識経験者からの意見	陸上競技場北側斜面の植栽整備工事が完成し、北風対策として評価できる。予算を確保し適切な整備・維持管理で事業の継続を望む。
------------	--

32	事業名	スケートボード場整備事業	決算書 P. 357
	担当部署	生涯学習課 スポーツ振興係	事業費 18,779,786 円
	総合計画施策名	ちむ清らさあるひとの学び育ち	スポーツの推進
	教育振興計画基本目標及び施策名	生涯を通した学びの循環と読谷の地域文化の継承・創造・発展	生涯スポーツの推進

事業概要	スケートボード場を青少年の居場所づくりとして設置する。		
令和5年度 取組内容 (計画)	スケートボード場（広場）整備工事		
令和5年度 取組状況 (成果)	スケートボード場の整備 面積：1,000 m ² 飛び出し防止柵設置 注意書き看板設置		
自己評価	B	計画どおりの成果があった。	
	当初の予算計画にはなかった事業であったが、9月補正の後、円滑に工事発注することができ、条例の一部改正も含めて年度内に工事完成・供用開始することができた。		
課題	スケートボード場の利用方法の周知及び遵守の徹底		
次年度以降の 取組内容 (課題対応)	読谷村スケートボード場を活用したスケボー教室を開催する等、青少年の居場所の一つとして有効活用を図る。		

学識経験者からの意見	スケートボードは、五輪で日本選手の活躍もあり話題になっている。本村にもスケートボード場が整備され、年度内に完成・供用開始することができたことは評価できる。青少年の居場所づくりの一つとして有効活用が図られるよう望む。
------------	---

3) 地域文化の継承・創造・発展

33	事業名	返還軍用地埋蔵文化財発掘調査事業	決算書 P. 321
	担当部署	文化振興課 文化振興係	事業費 26,381,680 円
	総合計画施策名	ちむ清らさあるひとの学び育ち	地域文化の創造発展
	教育振興計画基本目標及び施策名	生涯を通した学びの循環と読谷の地域文化の継承・創造・発展	地域文化の継承・創造・発展

事業概要	返還軍用地等における埋蔵文化財の発掘調査及び報告書発刊のための資料整理を行う。また文化財を保存し、且つ、その活用を行うことで村民及び国民の文化財保護意識の向上を図る。
令和5年度 取組内容 (計画)	①埋蔵文化財包蔵地の事前審査依頼に対する回答を行う。 ②開発調整のための試掘調査及び立会を行う。 ③比謝川水系のグスク群の報告書発刊に向けて資料整理を行う。
令和5年度 取組状況 (成果)	①埋蔵文化財包蔵地の事前審査依頼に対する回答を295件行った。 ②開発調整のための試掘調査を8件(掘削16箇所)、トリイ通信施設、嘉手納弾薬庫等を含む工事の立会を7件(掘削163箇所)行った。 ③これまで資料整理を行ってきた比謝川水系のグスク群の遺跡の資料まとめを行った。
自己評価	B 計画どおりの成果があった。 埋蔵文化財包蔵地の事前審査依頼の提出や試掘調査・工事立会の実施により、文化財の不時発見や滅失を防ぐことが出来た。また、資料整理を行うことにより、遺跡の正確な性格を確認することができ、より良い報告書原稿の作成が出来た。
課題	事前審査依頼が増加傾向にあり、それに伴う開発調整が増加しているが、考古学の専門知識を有した学芸員職の人員が十分でないことから、依頼が増加すると対応できなくなり、開発にも影響する可能性がある。
次年度以降の 取組内容 (課題対応)	令和6年度からは『村内遺跡発掘調査事業』に移行する。事業内容は同一であるため、引き続き文化財の現地保存の考えを周知するとともに、調査(業務)体制について検討したい。

学識経験者からの意見	埋蔵文化財包蔵地の事前審査依頼への回答、試掘調査、工事立会が適切に行われ、「文化財の保存」「埋蔵文化財保護意識の向上」に資するものと評価できる。埋蔵文化財は、国民の共有財産であり、大切に保存する必要がある。計画的な調査及び作業の実施を望む。
------------	--

34	事業名	博物館管理運営事業	決算書 P. 339
	担当部署	文化振興課 文化振興係	事業費 48,877,670 円
	総合計画施策名	ちむ清らさあるひとの学び育ち	地域文化の創造発展
	教育振興計画基本目標及び施策名	生涯を通した学びの循環と読谷の地域文化の継承・創造・発展	地域文化の継承・創造・発展

事業概要	歴史・文化資源を保全し、地域文化や生涯学習・社会教育ならびに地域振興の中核的拠点として博物館運営の向上に資する。 資料の収集・整理・記録・保存・活用といった博物館機能のみならず、座喜味城跡のビジターセンターとしての役割も担うことから、国内外からの来館者が快適に利用できるような適切な施設運営や保守管理を行う。
令和5年度 取組内容 (計画)	世界遺産座喜味城跡の麓に建つミュージアムとして、沖縄・読谷の魅力的な歴史・文化・芸術を広く紹介する為に、来訪者が快適に見学できる環境づくりと利便性の向上、さらには安全性を確保するために施設・設備の法定検査・清掃・警備等の業務委託を通して施設管理・保守に努める。
令和5年度 取組状況 (成果)	多言語のパンフレットを作成し配布したことで、インバウンドの来訪者を含めた多くの外国人観光客への歴史・文化の普及に努めた。 需用費（施設修繕費）で館内空調機器をフロンガスから自然冷媒の炭化水素ガスへの入替を行ったことで、今後の光熱費削減や節電等による環境への配慮が見込まれる。 日々の清掃により、来訪者から高い評価が得られた。
自己評価	B 計画どおりの成果があった。 施設・設備の維持管理を適切に行い、来館者に利便性の向上を実感してもらうことが出来た。
課題	機械設備の経年劣化による不具合や故障が多く、修繕費用の確保が必要である。また、雨天時の雨漏りや梅雨時期に館内が多湿状態になることで、施設・設備への弊害をもたらしており、予防と対策が必須である。
次年度以降の 取組内容 (課題対応)	多くの機械設備や躯体に結露や雨漏りが原因と思われる不具合や故障が起きているため、原因解明に努め問題解決に取り組む。

学識経験者からの意見	多言語のパンフレットは、読谷村の歴史・文化の普及と利用者の便宜性の向上に資するもので評価できる。空調機器については環境に配慮した対応であると認められる。機器の定期点検、安全性の確認及び経年劣化による修繕が計画的に実施されることを望む。
------------	---

35	事業名	子ども文化育成事業	決算書 P. 333
	担当部署	生涯学習課 文化センター係	事業費 2,184,000 円
	総合計画施策名	ちむ清らさあるひとの学び育ち	生涯学習の充実
	教育振興計画基本 目標及び施策名	生涯を通した学びの循環と読谷 の地域文化の継承・創造・発展	地域文化の継承・創造・発展

事業概要	児童生徒の伝統芸能への理解、関心を高めるため、赤犬子子ども三線・箏・太鼓クラブの開催。小学校の文化的クラブ（三線・箏・茶道・琉舞）活動への講師派遣等を行う。		
令和5年度 取組内容 (計画)	小中学生を対象とした赤犬子子どもクラブ（三線・箏・太鼓）の稽古を5月から3月までの間、毎週土曜日の午前中に行う。 また、村内小学校のクラブ活動支援として、講師の派遣を行う。		
令和5年度 取組状況 (成果)	全35回開催で申込者数は、196名 延べ参加数4,260名で、内訳は三線延べ3,037名、箏延べ607名、太鼓延べ616名 5小学校への講師派遣 参加数延べ793名 渡慶次小：三線6回延べ66名、茶道5回延べ55名、琉舞6回延べ36名、読谷小：三線5回延べ125名、喜名小：三線6回延べ84名、古堅小：三線8回延べ112名、茶道7回延べ63名、古堅南小：三線6回延べ66名、箏6回延べ60名、昔遊び6回延べ126名		
自己評価	B	計画どおりの成果があった。	
	赤犬子子どもクラブ及び学校クラブ派遣の講師調整、事務調整は、予定通り行い、事業実施することができた。		
課題	低学年（1、2年生）の育成に苦慮している。 読谷まつりの受け継ごう読谷（ふるさと）の心までに斉唱5曲を習得させることが課題（渡りぞう、秋の踊り、安波節、子守節、安里屋ユンタ）		
次年度以降の 取組内容（課題 対応）	低学年は、学年毎のクラス編成を行い、1年生クラスは、親と一緒に受講してもらい、工工四の理解に親子で取り組んでもらう。 家庭に帰っても親子で復習し、工工四及び三線の習得に努めてもらう。		

学識経験者からの 意見	赤犬子子どもクラブ・学校クラブ支援へ講師派遣が計画通り実施された。「読谷まつり」の中で5曲発表することができた。子どもへの伝統芸能の推進は、地域文化振興に寄与しており評価できる。 今後とも、多くの子供達が地域文化に触れことができるよう支援の継続を望む。
----------------	---

36	事業名	沖縄語保存継承事業	決算書 P. 341
	担当部署	文化振興課 村史編集係	事業費 12,807,484 円
	総合計画施策名	ちむ清らさあるひとの学び育ち	地域文化の創造発展
	教育振興計画基本目標及び施策名	生涯を通した学びの循環と読谷の地域文化の継承・創造・発展	地域文化の継承・創造・発展

事業概要	現在では、日常生活で会話することも少なくなった沖縄語(しまくとぅば)の保存継承に寄与するため、身近な生活の中で語られてきた沖縄語をわかりやすく学び、親しむためのデータベースを拡充し、普及継承活動(展示・講座等)を実施する。
令和5年度 取組内容 (計画)	しまくとぅば辞典の発刊に向けた内容推敲(校正)を行い、その内容をホームページに反映する。沖縄語に親しむための講座や展示、広報等の普及継承活動を実施する。
令和5年度 取組状況 (成果)	辞典作成のための校正を行い、その内容を HP「読谷村しまくとぅば単語帳」へ反映した(単語の意味・説明、約 14,000 件の追記、修正)。 HP のアクセス数: 91,351 回(前年度 50,665 回) 読谷村史編集室 YouTube チャンネルに関連動画(講座等) 28 本を公開 しまくとぅば講座(実施回数 31 回、総受講者数 701 名) 普及継承活動として展示会(9/1~10/1、入場者数 1,709 名)、各自治会への呼びかけ(12 回 400 名対象)、村広報誌での記事連載(毎月)、FM よみたんでの周知(11 回)、各種団体との普及継承のための意見交換会(6 回)を実施した。
自己評価	A 計画を上回る成果があった。 講座や展示会に大勢の村民が参加し、講座では前年度を上回る高い満足度(86%、前年度 82%)を得た。また展示会や広報誌のアンケート結果でも「村の文化、言葉を知ることができて良い」と好評価を得た。
課題	体系的な学習利用、また資料保存の必要性から辞典発刊に向け取り組む。沖縄語に親しむ単発的な普及講座だけではなく、指導者や後継者育成のための継続的な講座も実施する必要がある。
次年度以降の 取組内容 (課題対応)	辞典発刊に向け、有識者との検討会議を継続して実施する。 単発の講座のみならず学校クラブなどの連続講座にも注力する。 沖縄語を話すことができる村民や、聞くことはできるが話すことが苦手な村民らが、積極的に話すことできるような場の構築を図る。

学識経験者からの意見	「しまくとうば辞典」「村内の民話」「各講座」「音声資料」の公開・発信は、地域の言葉「ウチナーグチ」保存・継承へ寄与しているものと評価できる。作成したデジタル資料等が生涯学習や学校教育の場で幅広く活用されるよう望む。
-------------------	--

37	事業名	鳳ホール自主事業	決算書 P. 333
	担当部署	生涯学習課 文化センター係	事業費 4,399,356 円
	総合計画施策名	ちむ清らさあるひとの学び育ち	生涯学習の充実
	教育振興計画基本 目標及び施策名	生涯を通した学びの循環と読谷 の地域文化の継承・創造・発展	地域文化の継承・創造・発展

事業概要	鳳ホールを中心に自主事業である「民俗芸能祭」「創作子どもミュージカル」や文化事業等の誘致を行うことにより、優れた芸術を村民が鑑賞する機会を作る。また、各地域に伝わる伝統芸能等の保存・継承に努める。		
令和5年度 取組内容 (計画)	「創作子どもミュージカル」を実施する。		
令和5年度 取組状況 (成果)	創作子どもミュージカル「コインコと星の三線～大切なものはいつもそばにある」の上演 出演者：20名 来場者：500名余り		
自己評価	B	計画どおりの成果があった。	
		創作子どもミュージカルに出演することで、歌や音楽・ダンスで自己表現する楽しさ、共同での作りをする楽しさ、同じものをめざす連帯感等を学ぶことができた。 出演者と観覧者が一体となり、感動体験を共有することができた。	
課題	応募者が少ないことから、改めて、普及啓発が必要である。		
次年度以降の 取組内容 (課題対応)	募集の際、各小中学校保護者向け連絡ツールであるスクリレの連携活用を図り、小学校3年生から中学3年生まで周知を図る。 更には、ワークショップ参加者へも声掛けを行う。		

学識経験 者からの 意見	創作子どもミュージカルが計画どおり実施され評価できる。出演した子ども達が自己表現する楽しさを学ぶことができ成果があった。 募集の工夫でもっと多くの子が挑戦できる機会がもてるとよい。
--------------------	---

38	事業名	陶芸研修所運営事業	決算書 P. 327
担当部署	生涯学習課 文化センター係	事業費	6,608,277 円
総合計画施策名	ちむ清らさあるひとの学び育ち	生涯学習の充実	
教育振興計画基本 目標及び施策名	生涯を通した学びの循環と読谷 の地域文化の継承・創造・発展	地域文化の継承・創造・発展	

事業概要	生涯学習及び文化活動の拠点である陶芸研修所を活用し、広く村民に「やちむんの村」であることを知ってもらう。 伝統工芸であるヤチムンを体験し学ぶことでヤチムンの普及拡大と生涯学習の充実を図る。	
令和5年度 取組内容 (計画)	陶芸研修所の機能改善 親子やちむん教室等の開催	
令和5年度 取組状況 (成果)	親子やちむん教室の開催 30組 参加者 62名 やちむん体験教室の実施 サークル等による陶芸研修所の利活用 講座等：延べ215名(6教室) サークル：延べ580名(2団体) 保育所：延べ40名(2園) 一般貸館：49名(団体1、個人3) 合計884名	
自己評価	B	計画どおりの成果があった。
	親子やちむん教室、一般向けやちむん体験教室を実施し伝統工芸である「ヤチムン」への理解を深めることにつながった。	
課題	屋根瓦等施設の劣化が見られるため、改築等の検討を要する。	
次年度以降の 取組内容(課題 対応)	改築等に向けて、実施設計に取り組みたい。	

学識経験 者からの 意見	親子やちむん教室や講座、サークル活動等が計画的に実施され、陶芸研究所が有効に活用されたことは成果があった。陶芸研究所は「やちむんの村」として「ヤチムン」を継承・発展のためには必要な施設と考える。 「ヤチムン」の普及拡大にむけた支援を望む。
--------------------	--

39	事業名	歴史資料整理活用事業	決算書 P. 325
	担当部署	文化振興課 村史編集係	事業費 14,331,458 円
	総合計画施策名	ちむ清らさあるひとの学び育ち	地域文化の創造発展
	教育振興計画基本目標及び施策名	生涯を通した学びの循環と読谷の地域文化の継承・創造・発展	地域文化の継承・創造・発展

事業概要	沖縄や本村に特徴的な歴史を後世に継承していくため、これら種々の歴史資料や歴史公文書等を順次調査し、整理・保存・公開を行う。
令和5年度 取組内容 (計画)	収集および寄贈資料を整理、評価選別しデータベースへ登録する。 元村長資料を整理し、貴重資料はデジタル化しデータベースを構築する。村広報誌および戦後復興期資料を整理し、Webサイトを構築、公開する。
令和5年度 取組状況 (成果)	村史編集室収蔵資料 12,026 点（当初目標値 10,000 点）を整理、登録した。 元村長資料など貴重資料 28,209 枚のデジタル化を実施、531 件のデータベース化を完了した。 戦後復興初期の貴重資料 101 点、戦後村広報誌（記事数 17,105 件）をデジタル化しホームページ公開した。前者は 1,098 回、後者は 12,000 回のアクセス数を得た（ともに 2/29～6/30 の間）。
自己評価	A 計画を上回る成果があった。 収蔵資料の整理、登録が進み、貴重資料の再発見により、今後のレファレンス、教育利用などでのスムーズな活用が見込めるようになった。 Web 上アンケートでは、本村歴史文化への理解が深まった割合 80%以上となり、多くの利用者から高い評価を得ている。特に全文検索が可能な広報誌のデータベースサイトは全国的にも稀な例で、高い利便性を持つ。
課題	整理が進展する一方、膨大な資料点数のため、さらなる成果を上げるために整理、登録、評価選別、資料分析に係る人員を増員する必要がある。整理した貴重資料および利用頻度の高い資料の公開、周知に取り組む。
次年度以降の 取組内容 (課題対応)	令和7年度供用開始予定（仮称）読谷村総合情報センターへの村史編集室移転を想定した整理を進め、同センターでのレファレンス対応に備える。 戦後復興資料サイトへのデータ拡充を行うとともに、それら資料に関する展示会を実施し本村の歴史及び本事業の周知を行う。 読谷まつりの内容、画像、映像を検索できる Web サイトを構築し公開する。

学 識 経 験 者 か ら の 意 見	本事業では、本村の貴重な歴史資料をデジタル化し、一般公開することで利用者から高い評価を得ている。地域の史料情報を確実に伝えることは次世代が地域の歴史を学ぼうえで大切である。 文化財継承の担い手の確保と体制づくりの整備は必要である。
------------------------------------	---

40	事業名	博物館展示事業	決算書 P. 335
	担当部署	文化振興課 文化振興係	事業費 1,559,165 円
	総合計画施策名	ちむ清らさあるひとの学び育ち	地域文化の創造発展
	教育振興計画基本目標及び施策名	生涯を通した学びの循環と読谷の地域文化の継承・創造・発展	地域文化の継承・創造・発展

事業概要	文化活動及び生涯学習に関する展示の充実を図り、地域文化・芸術の振興を目的とする。来訪者の歴史・文化・芸術・自然に対する関心と理解を深め、生活文化の向上をめざす。読谷村への認識を高め、「文化村」読谷村をアピールし、地域の文化振興に寄与することで、村民（児童生徒）に誇りと自信を与え、創作意欲の向上を図る。
令和5年度 取組内容 (計画)	①ユンタンザミュージアム常設展示の管理・展示替え ②ユンタンザミュージアム企画展の企画・運営
令和5年度 取組状況 (成果)	企画展観覧者数 「令和2・3年度新収蔵品展」4,780名 「読谷アンデパンダン展」2,210名 「読谷山花織展」3,315名 「読谷児童生徒作品展」2,215名 「読谷やちむん展」4,950名
自己評価	B 計画どおりの成果があった。 満足度についてのアンケートでは、「とてもよかった」または「よかった」と答えた割合が、企画展では97.3%、常設展では90.6%であり、多くの方に読谷村の歴史・文化・自然の魅力を伝えることができた。
課題	令和5年度は読谷山花織事業協同組合と連携して展示を行ったことで、読谷山花織の周知や生産者の意欲向上に繋がるなどの効果があったことから、今後も各種分野との企画をすすめ連携していく必要がある。
次年度以降の 取組内容 (課題対応)	令和6年度は読谷まつりに関連した展示を予定しており、そこで各字の伝統芸能を紹介するため関係自治会に協力を仰ぎながら実施していく。

学識経験者からの意見	各企画展覧会とも計画どおり実施し観覧者も多く成果があった。利用者アンケートから企画展で97.3%、常設展示90.6%で「よかった」となっている。文化・芸術の振興に寄与しており評価できる。今後、村各自治体や各団体と連携した取組に期待する。
------------	--

41	事業名	博物館教育普及事業	決算書 P. 335
	担当部署	文化振興課 文化振興係	事業費 11,754,855 円
	総合計画施策名	ちむ清らさあるひとの学び育ち	地域文化の創造発展
	教育振興計画基本目標及び施策名	生涯を通した学びの循環と読谷の地域文化の継承・創造・発展	地域文化の継承・創造・発展

事業概要	村民に読谷村の歴史・文化・芸術・自然を理解してもらい、村民としてのアイデンティティを確立してもらうことによって、これからの村づくりに寄与する人材を育成する。また、村外の方には読谷村の魅力を紹介し、読谷村の理解者になっていただくことを目的とする。
令和5年度 取組内容 (計画)	①座喜味城跡周辺自然環境調査の実施と普及用コンテンツの作成 ②講座の企画・運営 ③年報・紀要の発刊 ④実習生の受け入れ ⑤ミュージアム運営協議会の開催
令和5年度 取組状況 (成果)	・座喜味城跡周辺の自然環境調査を行い、地質・動物編ハンドブックを発刊した。 ・講座は、①星空観察会（参加者 32 名）、②高校生版画ワークショップ（4 名）、③昆虫採集（6 名）、④野鳥観察会（13 名）、⑤未就学児向け美術ワークショップ（23 名）、⑥中学生ガラス工芸体験（5 名）を開催した。 ・中学生職場体験 6 名、学芸員実習生 3 名を受け入れた。 ・令和4年度年報・紀要第 47 号を発刊した。 ・ミュージアム運営協議会を 2 回開催した。
自己評価	B 計画どおりの成果があった。 講座に参加し、アンケートに回答いただいた方全員が、講座の満足度を「とても良かった」または「良かった」と回答した。ほかにも発刊物、実習生の受入などをとおして、読谷村の歴史・文化・自然や、ユンタンザミュージアムの取組を周知し、読谷村の理解者を増やすことができた。
課題	座喜味城跡周辺の自然環境調査の植物分野において、台風の影響による植生への被害があったため、追加調査が必要になった。
次年度以降の 取組内容 (課題対応)	令和6年度で座喜味城跡周辺自然環境の植物分野の追加調査を実施して、調査内容を紹介するハンドブックを製作し、教育普及に活用する。

学識経験者からの意見	各企画講座とも計画どおり実施することができ成果があった。 参加者アンケートでは全員から「よかった」との回答があり、本村の自然・文化に親しむことができたと評価できる。計画的な調査が進み座喜味城跡周辺の植物ハンドブックの発刊を期待する。
------------	---

42	事業名	ユンタンザミュージアム南側駐車場整備事業		決算書 P. 341
	担当部署	文化振興課 文化振興係	事業費	208,772,832 円
	総合計画施策名	ちむ清らさあるひとの学び育ち	地域文化の創造発展	
	教育振興計画基本目標及び施策名	生涯を通した学びの循環と読谷の地域文化の継承・創造・発展	地域文化の継承・創造・発展	

事業概要	世界遺産座喜味城跡および世界遺産座喜味城跡ユンタンザミュージアム周辺の自然・歴史・文化資源を一層活用できるよう、周遊する観光客の誘客や来訪者の利便性を確保するため駐車場及びトイレ等便益施設を整備する。		
令和5年度 取組内容 (計画)	世界遺産座喜味城跡や世界遺産座喜味城跡ユンタンザミュージアムへの来訪者の利便性向上のための駐車場整備・便益施設の整備工事を行う。		
令和5年度 取組状況 (成果)	駐車場整備（大型バス10台、普通乗用車51台、軽自動車3台、身体障がい者用2台、合計66台） 便益施設の整備（トイレ、東屋2棟）		
自己評価	B	計画どおりの成果があった。	
		前年度繰越の駐車場整備を修正設計し、整備工事を行った。 その後、令和5年度計画の便益施設の建築、機械設備、電気設備工事を行い、駐車場整備工事を完了することができた。	
課題	駐車場整備によって利便性が高まったことから、これまで以上に多くの方に活用してもらえるように周知を行うなど、誘客につながる取り組みを行う必要がある。		
次年度以降の 取組内容 (課題対応)	駐車場・便益施設の設備を適切に維持管理していく。		

学識経験者からの意見	世界遺産座喜味城跡ユンタンザミュージアム専用駐車場、公衆トイレ整備が計画通り完成することができ成果があった。また、すべての利用者が活用しやすい施設となり評価できる。今後とも来訪者の利便性を確保するため両施設の適正な維持管理を望む。
------------	---

43	事業名	フィールドミュージアム整備活用事業	決算書 P. 341
	担当部署	文化振興課 文化振興係	事業費 112,523,000 円
	総合計画施策名	ちむ清らさあるひとの学び育ち	地域文化の創造発展
	教育振興計画基本目標及び施策名	生涯を通した学びの循環と読谷の地域文化の継承・創造・発展	地域文化の継承・創造・発展

事業概要	グスク時代開始期の遺跡である大湾アガリヌウガン遺跡及び周辺環境を保全し、村の歴史や文化の魅力を発信するフィールドミュージアムとして整備・活用する事で、村内文化財及び文化観光施設の魅力の向上を図る。	
令和5年度 取組内容 (計画)	「大湾アガリヌウガン遺跡」を村文化財に指定するための調整を進めるとともに、フィールドミュージアムとして整備するため地権者（宇大湾郷友会）への説明会等を開催し遺跡用地を買い上げる。	
令和5年度 取組状況 (成果)	令和5年8月に村文化財に指定された「大湾アガリヌウガン遺跡」の用地を買い上げ、その後の整備活用計画につなげることができた。	
自己評価	B	計画どおりの成果があった。
	大湾アガリヌウガン遺跡を村の文化財に指定することができ、遺跡用地の購入も年度内に行うことができたことは、今後のフィールドミュージアム整備活用事業を進めるうえで大きな成果であった。	
課題	大湾アガリヌウガン遺跡や村内の文化財等に関する情報発信等の周知方法も含め、魅力ある整備・活用ができるような基本設計・実施設計を構築する必要がある。	
次年度以降の 取組内容 (課題対応)	大湾アガリヌウガン遺跡に村内の文化財や世界遺産座喜味城跡ユンタンザミュージアムを始め関連施設への周遊起点として活用できるようなガイダンス施設等を整備するなど、新たな文化観光施設としての活用を図る。 （令和6年度基本設計、令和7年度実施設計、令和8年度整備工事、令和9～13年度各字文化財の整備）	

学識経験者からの意見	大湾アガリヌウガン遺跡及び周辺環境保全に向けて、用地の買い上げができ成果があった。新たな施設の計画的な整備を望む。
------------	---

3 地域との連携による教育環境づくり

1) 健全な青少年の育成

44	事業名	地域学校協働活動推進事業	決算書 P. 309
	担当部署	生涯学習課 生涯学習係	事業費 460,400 円
	総合計画施策名	ちむ清らさあるひとの学び育ち	生涯学習の充実
	教育振興計画基本目標及び施策名	地域との連携による教育環境づくり	健全な青少年の育成

事業概要	地域学校協働活動推進本部の設置（2 中学校区）を行い、地域学校協働活動推進員 2 名を配置する。各種ボランティアの派遣実施、地域学校協働活動支援ボランティア養成講座の開催や人材の確保、学校支援ボランティアを学校の要望に応じてコーディネートする。
令和 5 年度 取組内容 (計画)	・学校支援ボランティア募集及び登録 ・地域学校協働活動推進員の配置 ・地域学校協働活動支援ボランティア活動 ・地域学校協働活動推進本部会議の開催 ・ボランティア養成講座の実施
令和 5 年度 取組状況 (成果)	・学校支援ボランティア 新規登録 23 名 延べ 170 名 ・コーディネーター（地域協働活動推進員） 2 名 ・ボランティア活動 120 回 延べ 421 名 ・ボランティア養成講座 全 3 回 延べ 45 名
自己評価	B 計画どおりの成果があった。 学校からの要請に地域人材がボランティア活動を通して、学校・地域の連携を図り、学校教育支援活動が行えた。ボランティア養成講座では、ボランティア人材が事業を理解し関わることへつながった。
課題	学校とボランティア人材の情報共有を図り、更なる活動を推進する。
次年度以降の 取組内容 (課題対応)	地域学校協働活動推進事業とコミュニティスクールの一体的推進にむけた事業実施を目指す。

学識経験者からの意見	地域学校協働活動推進員 2 名を配置し、推進員の努力等もあり、学校教育活動に多くの学校支援ボランティアが関わって、学校教育の向上に繋がっていることを評価する。
------------	---

45	事業名	放課後子ども教室推進事業	決算書 P. 309
	担当部署	生涯学習課 生涯学習係	事業費 5,401,867 円
	総合計画施策名	ちむ清らさあるひとの学び育ち	生涯学習の充実
	教育振興計画基本目標及び施策名	地域との連携による教育環境づくり	健全な青少年の育成

事業概要	放課後の居場所づくりは、地域の自治会等を活用し、子ども達の自由で安心安全な居場所を提供するもので、異年齢交流や地域の大人との触れ合いを通した「学び・育ち合い」の環境を地域で拠点づくりを行う。
令和5年度 取組内容 (計画)	参加希望者を募り、村内9か所（横田、喜名、波平、長浜、大添、楚辺、大木、伊良皆、比謝）でコーディネーター及び安全見守り隊を配置し実施する。
令和5年度 取組状況 (成果)	・実施回数延べ567回 延べ4,173名、児童の登録者数 160名 ・コーディネーター 6名 ・安全見守り隊登録者数 59名
自己評価	B 計画どおりの成果があった。 自治会やスタッフの皆さんと連携を図り安全に実施し、遊びや学習を通した「学び・育ち合い」が行われ、子どもの成長に貢献できた。
課題	わんぱく広場活動場所の環境整備
次年度以降の 取組内容 (課題対応)	文部科学省による放課後こどもプランの中で、放課後子どもクラブとの連携が示されていることから関係課と意見交換等を行う。

学識経験者からの意見	各公民館を利用した「わんぱく広場」が計画どおり実施され、(延べ567回)多くの子供達が交流でき成果があった。本事業は、子どもの「居場所の確保」「異年齢交流」「社会性の育成」に繋がり評価される。実施にむけては、ボランティアの確保と、安全を第一にした運営を望む。
------------	---

46	事業名	村子ども会交流事業	決算書 P. 315
	担当部署	生涯学習課 生涯学習係	事業費 27,072 円
	総合計画施策名	ちむ清らさあるひとの学び育ち	生涯学習の充実
	教育振興計画基本 目標及び施策名	地域との連携による教育環境づくり	健全な青少年の育成

事業概要	歴史や文化、生活環境の異なる地域との様々な交流を通して、他者理解やコミュニケーション能力の向上を図り、未来の担い手育成を行う為に県外の子ども会育成連絡協議会との相互交流を行う
令和5年度 取組内容 (計画)	岐阜県白川村子ども会育成協議会との交流が終了となったことにあわせ、次の交流先を選定する。村内小学校5・6年生及び中学生を対象に、1泊2日の伊江島民泊交流を子ども会育成連絡協議会と共に 行う。
令和5年度 取組状況 (成果)	県外子ども会（教育委員会）へ交流先へのアプローチを図っている。その間、暫定的に県内交流として、読子連と共催による「伊江島民泊交流」を実施した。また、ジュニアリーダー育成と平行して行った結果、ジュニアリーダークラブを結成することができた事は、大きな成果となった。
自己評価	C 計画通りに実施したが、計画どおりの成果には至らなかった。 いくつかの県外交流先と意見交換を行ったが、決定には至らなかった。
課題	交流先の選定、調整
次年度以降の 取組内容 (課題対応)	交流先を決定し、県外交流事業を再開する。 山梨県北杜市とオンライン交流を行う。

学識経験者からの 意見	伊江島民泊交流を計画通り実施することができた。交流後のジュニアリーダークラブの結成ができたことに成果があった。 今後とも交流を通して、未来の担い手が育まれるよう支援を望む。
----------------	---

47	事業名	青少年センター事務運営事業	決算書 P. 307
	担当部署	学校指導課 学校指導係	事業費 11,767,327 円
	総合計画施策名	ちむ清らさあるひとの学び育ち	子どもの教育の充実
	教育振興計画基本目標及び施策名	地域との連携による教育環境づくり	健全な青少年の育成

事業概要	青少年センター及び村立小中学校に教育相談員を配置し、相談活動を行う事で村立小中学校に在籍する児童生徒の心のケアを行い、対象児童・生徒が充実した学校生活を過ごせる状態を目指す。
令和5年度 取組内容 (計画)	青少年センターでの教育相談、学校や関係機関との連携や情報交換、適応障害児の児童生徒への登校支援や学習支援を行う。 村立小中学校への心の教室相談員の配置 心理カウンセラーによる相談活動の実施
令和5年度 取組状況 (成果)	・ 青少年センター相談員 7 名（所長兼相談員 1 名、センター相談員 1 名、心の教室相談員 5 名）※中学校担当 2 名、小学校担当 3 名 ・ 心理カウンセラー（臨床心理士及び公認心理師）1 名週 1 回 ・ 上記相談件数計（延べ件数） 青少年センター588 件、心理カウンセラー 102 件（実人数 83 名） 渡慶次小 245 件、読谷小 248 件、喜名小 96 件、古小 281 件、古南小 281 件、読中 1,868 件、古中 363 件
自己評価	B 計画どおりの成果があった。 ・ 青少年センターにおいて学習支援を行い、支援対象の児童生徒が自主的な学習活動を行えるようになった。 ・ 各学校における心の教室は、児童生徒が学校生活を過ごす上で話を身近に聞いてもらえる場所として活用されている。
課題	・ 青少年センター通所が困難な家庭への対応（送迎等） ・ S S W の配置及び各小学校への心の教室相談員の 1 名配置について ・ (仮称) 読谷村総合情報センターへの移転後の運用について
次年度以降の 取組内容 (課題対応)	・ 青少年センター通所が困難な家庭への対応の検討 ・ (仮称) 読谷村総合情報センターへの移転後の運用の検討

学識経験者からの意見	青少年センターの業務及び成果報告から、教育相談が充実し、児童生徒の心のケアに資することができている。ただ、各小学校への「心の教室相談員」の1名配置への努力はお願いしたい。
-------------------	--

2) 地域とともにある信頼される学校づくりの推進

48	事業名	小学校校舎等維持補修事業	決算書 P. 267
	担当部署	教育総務課 施設係	事業費 150,369,376 円
	総合計画施策名	ちむ清らさあるひとの学び育ち	子どもの教育の充実
	教育振興計画基本 目標及び施策名	地域との連携による教育環境づくり	地域とともにある信頼される学校づくりの推進

事業概要	喜名小学校の空調設備は、設置から 15 年以上経過した防音機器（空調）について、防衛補助事業（3 条）を活用し機器の復旧を行う。
令和 5 年度 取組内容 (計画)	喜名小学校防音機器復旧のため、下記の事業を実施する。
令和 5 年度 取組状況 (成果)	喜名小学校防音機器復旧工事を実施した事により、教育環境の確保ができた。 ① 喜名小学校防音機器復旧工事 ② 喜名小学校防音機器復旧工事監理委託業務
自己評価	B 計画通りの成果があった。 履行期間内に計画通り工事を終え、安心・安全な教育環境を確保することができた。
課題	安心・安全な教育環境を確保するため、定期点検や計画的な修繕等の実施が必要となる。
次年度以降の 取組内容 (課題対応)	古堅小学校は、今後新增改築の際に空調設備は新調されることから、今年度事業において全小学校で防音機器復旧工事は完了した。15 年後の更新まで、空調機器の適切なメンテナンス及び学校での適切な使用方法を徹底する必要がある。

学識経験 者からの 意見	喜名小学校防音機器復旧工事は、履行期間内に計画通り工事を終え、良好な教育環境を確保できたことを評価する。
--------------------	--

49	事業名	古堅南小学校校舎新增改築事業		決算書 P. 283
	担当部署	教育総務課 施設係	事業費	1,965,268,415 円
	総合計画施策名	ちむ清らさあるひとの学び育ち	子どもの教育の充実	
	教育振興計画基本目標及び施策名	地域との連携による教育環境づくり	地域とともにある信頼される学校づくりの推進	

事業概要	古堅南小学校は竣工（1979 年）から築 43 年以上が経過しており、老朽化及び将来児童増加による教室不足解消のため改築を行う。		
令和 5 年度 取 組 内 容 (計 画)	校舎新增改築工事のため、下記の事業を実施する。		
令和 5 年度 取 組 状 況 (成 果)	校舎新增改築工事を実施した事により、安心・安全な教育環境の確保ができた。 ① 校舎新增改築工事（建築工事）1 工区・2 工区、電気工事、機械設備工事 ② 校舎新增改築併行防音工事（建築工事）1 工区・2 工区、電気工事、除湿換気設備工事		
自己評価	B	計画通りの成果があった。	
	履行期間内に計画通り工事を終え、安心・安全な教育環境を確保することができた。		
課 題	学校建設は多額な事業費が必要なため、国庫補助を受けてから工事発注のため、年度内完成に向けて事業スケジュールの確保が必要である。		
次年度以降の 取組内容 (課題対応)	次年度は外構工事や運動場工事が行われるため関係機関と調整を行いながら事業スケジュールの遅れが生じないように対応を行う。		

学識経験者からの意見	古堅南小学校の校舎が立派に新築され、児童はもとより保護者、地域が喜んでいる。履行期間内に計画通り工事が終え、最上級の教育環境に仕上がったことを高く評価する。外構工事や運動場の工事が無事に終了することを願う。
------------	---

50	事業名	古堅小学校校舎新增改築事業		決算書 P. 285
	担当部署	教育総務課 施設係	事業費	13,290,787 円
	総合計画施策名	ちむ清らさあるひとの学び育ち	子どもの教育の充実	
	教育振興計画基本目標及び施策名	地域との連携による教育環境づくり	地域とともにある信頼される学校づくりの推進	

事業概要	古堅小学校は竣工（1976 年）から築 48 年以上が経過しており、老朽化及び将来児童増加による教室不足解消のため改築を行う。		
令和 5 年度 取 組 内 容 (計 画)	古堅小学校校舎新增改築のため、下記の事業を実施する。		
令和 5 年度 取 組 状 況 (成 果)	耐力度調査業務を実施した事により、校舎改築に向けて事業が推進した。 ①古堅小学校校舎耐力度調査委託業務		
自己評価	B	計画通りの成果があった。	
		履行期間内に耐力度調査を終え、基本計画発注への準備を整えることができた。	
課 題	文部科学省や沖縄県は、既存施設の長寿命化を推進しているため、古堅小学校についても長寿命化を含めた校舎配置の検討が必要である。		
次年度以降の 取組内容 (課題対応)	次年度は、基本計画策定となっているため、関係機関や学校と調整を行いながら事業スケジュール等の遅れが生じないように対応を行う。		

学識経験者からの意見	古堅小学校は、築 48 年以上も経過し、老朽化も進んでいる。古堅小学校の校舎新增改築に向けて計画的に着実に事業を進めることを願う。
------------	---

51	事業名	中学校校舎等維持補修事業	決算書 P. 285
	担当部署	教育総務課 施設係	事業費 8,358,069 円
	総合計画施策名	ちむ清らさあるひとの学び育ち	子どもの教育の充実
	教育振興計画基本 目標及び施策名	地域との連携による教育環境づくり	地域とともにある信頼される学校づくりの推進

事業概要	古堅中学校の空調設備は、設置から 15 年以上経過した防音機器（空調）について、防衛補助事業（3 条）を活用し機器の復旧を行う。
令和 5 年度 取組内容 (計画)	古堅中学校防音機器復旧のため、下記の事業を実施する。
令和 5 年度 取組状況 (成果)	防音機器復旧実施設計委託業務を実施した事により、機器復旧に向けて事業が推進した。 ①古堅中学校防音機器復旧実施設計委託業務
自己評価	B 計画通りの成果があった。
	履行期間内に設計図書の完成が行えたことで、工事発注への準備を整えることができた。
課題	安心・安全な教育環境を確保するため、定期点検や計画的な修繕等の実施が必要となる。
次年度以降の 取組内容 (課題対応)	次年度は、機器復旧工事となっているため、関係機関や学校と調整を行いながら事業スケジュール等の遅れが生じないように対応を行う。 また、今後読谷中学校の防音機器復旧工事が予定されているため沖縄防衛局と事業スケジュール調整が必要となる。

学識経験者からの意見	昨今の暑さは、体調維持に苦勞するほどであることから、クーラーの故障は無くしたいものである。本事業が計画通りに推進していることを評価する。
------------	--

3) 新しい時代を展望した教育行政の充実

52	事業名	家庭教育相談支援事業	決算書 P. 309
	担当部署	生涯学習課 生涯学習係	事業費 826,518 円
	総合計画施策名	ちむ清らさあるひとの学び育ち	生涯学習の充実
	教育振興計画基本目標及び施策名	地域との連携による教育環境づくり	新しい時代を展望した教育行政の充実

事業概要	気軽に子育ての相談を行える環境をつくり、適切な相談機関へつなぐ仕組みをつくり、孤立しない子育て環境や仲間づくりを行う
令和5年度 取組内容 (計画)	子育て応援講座、お父さんの子育て講座、子育てまーる（お楽しみ講座、子育てリサイクル会）、支援チームの学習会等を行う。
令和5年度 取組状況 (成果)	・子育て応援講座 6回延べ80名 ・お父さんの子育て講座 3回延べ32名 ・お楽しみ講座 3回延べ子ども18名、大人19名 ・子育てまーるリサイクル会 20回 子ども延べ217名、大人延べ385名 ・支援チームの学習会 3回延べ26名
自己評価	B 計画どおりの成果があった。 家庭教育の充実及び支援として、様々な工夫を行い村民が参加しやすい環境をつくることのできた。
課題	相談者を関係機関へつなぐ手法を確立する。（関係機関と連携）
次年度以降の 取組内容 (課題対応)	家庭教育支援チームの学習会の内容企画調整を行い効果的な学びを行う。

学識経験者からの意見	子育て応援講座、お父さんの子育て講座、子育てまーる支援チームの学習会等に参加した延べ人数が合計で777名となり、充実した本事業であったことを高く評価する。
------------	---

53	事業名	教育委員会事務局運営事業	決算書 P. 257
	担当部署	教育総務課 教育総務係	事業費 11,904,952 円
	総合計画施策名	ちむ清らさあるひとの学び育ち	生涯学習の充実
	教育振興計画基本目標及び施策名	地域との連携による教育環境づくり	新しい時代を展望した教育行政の充実

事業概要	教育の大綱としても位置付けている「読谷村教育振興基本計画」の理念のもとに教育委員会事務局全般に関する業務を行う。		
令和5年度 取組内容 (計画)	・第2次読谷村教育振興基本計画の策定 アンケートの実施（児童生徒、保護者、教職員） 各課ヒアリング、事務事業の総括、教育振興基本計画策定委員会の開催 ・教育委員会事務点検評価作業（毎年度及び計画期間内の総括）		
令和5年度 取組状況 (成果)	・第2次読谷村教育振興基本計画の策定 各課ヒアリング、関係者アンケート、策定委員会開催（2回） ・教育委員会事務点検評価による計画期間総括の実施		
自己評価	B	計画どおりの成果があった。	
		予定通りに策定業務を進めることができ、令和6年3月に計画の策定を完了した。	
課題	PDCA サイクルによる計画内容の進行管理		
次年度以降の 取組内容 (課題対応)	策定した第2次読谷村教育振興基本計画の施策に基づき、毎年度の事務点検を実施することで、計画の進行管理を適切に行う。		

学識経験者からの意見	第2次読谷村教育振興基本計画の策定業務ができたことを評価する。また、教育委員会事務点検評価作業も計画通り総括できたことを喜ぶものである。今後とも教育委員会の諸事業が適切に実施できることを願う。
------------	--